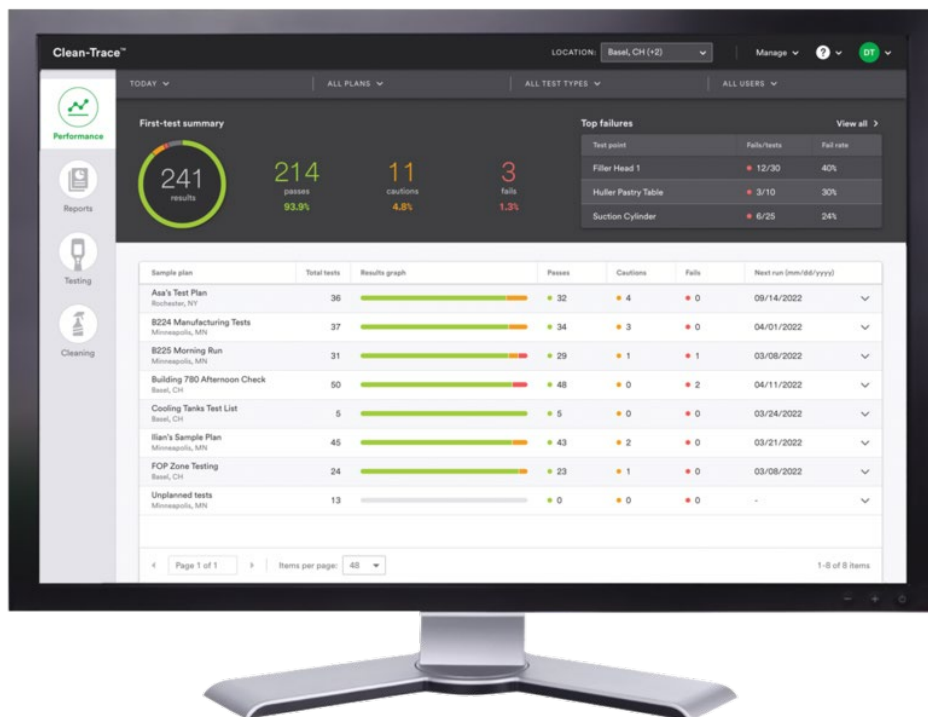


クリーントレース™ 衛生管理ソフトウェア ユーザーマニュアル



- ※ ソフトウェアのバージョンによっては画面表示や操作方法の一部が本書の説明と異なる場合があります。
- ※ 最新の情報につきましては英語版の取扱説明書をご参照ください。




クリーントレース™ 衛生管理ソフトウェア ユーザーマニュアル

本書の使用方法	1
クリーントレース™ 衛生管理ソフトウェアのインストール	1
コンピューターが最低限の条件を満たしていることを確認する	1
ソフトウェアを1台のコンピューターまたはネットワークファイルサーバーにインストールする	1
ソフトウェアをネットワークワークステーションにインストールする	5
クリーントレース™ 衛生管理ソフトウェアの使用方法	7
サイドバーメニューの使用方法	7
コモンタスクメニューの使用方法	7
ユーザー名によるログイン	7
サインアウト	7
ソフトウェアのシャットダウン	8
ソフトウェア初回使用時のシステム設定	9
ユーザー設定	9
組織の構成の設定	9
データをインポートする	11
ロケーションの設定	12
試験変数の設定	14
テストパラメーターの設定	14
デフォルト値の設定	15
テストポイントの設定	16
コメントの設定	17
役割の設定	17
ユーザーの設定	18
全テストポイント共通のサンプルプランを設定する	19
ロケーション別のサンプルプランを設定する	20
テストポイントをサンプルプランにランダム登録する	22
サンプルプランをユーザーに割り当てる	22
“Data Migration”機能で試験結果をインポートする	22

SYNC MANAGER の使用方法	24
Sync Manager へのログイン	24
Bluetooth 接続の設定	24
サンプルプランのスケジューリング	25
クリーントレース™ ATP 測定機器ルミノメーター-UNG3 との同期（一部のバージョンのみ）	26
システム設定情報の追加・編集	27
パスワードの変更	27
環境設定の編集	27
プロファイルの編集.....	27
サンプルプランの追加.....	28
サンプルプランの編集.....	28
クリーントレース™ ATP 測定機器ルミノメーターとの同期.....	29
コメントの追加	29
コメントの編集	30
コメントの削除	30
物理的口ケーションの追加・編集.....	30
テストタイプの編集.....	30
カスタムテストの編集.....	31
テストパラメーターの編集	31
デフォルト合格・不合格レベルの追加・編集.....	31
役割の編集.....	31
ユーザーの編集	31
ユーザーの追加	32
試験結果の追加	32
再試験結果を手入力で追加する.....	33
試験結果の編集	34
テストポイントの追加.....	34
テストポイントの編集.....	35
テストポイントの削除.....	36
テストポイントロケーションの編集.....	36
“Data Migration”機能で追加データをインポートする	36
ルミノメーター詳細情報の確認.....	37
組織構成の編集	37
Dashboard の使用方法	37
レポートの閲覧・印刷	40
標準レポートの閲覧.....	40

フェイバリットレポートの閲覧.....	41
レポート自動作成の設定.....	41
管理項目	43
クライアントシステム管理者への連絡.....	43
Neogen テクニカルサポートへの連絡.....	43
データベースから試験結果をアーカイブする.....	43
監査ログの表示.....	44
データベースのバックアップ.....	44
バックアップからデータベースをリストアする.....	45
ソフトウェアのアンインストール.....	46
エラーログファイルの閲覧.....	46
ファームウェアのアップグレード.....	46
トラブルシューティング	47
クリーントレース™ 衛生管理ソフトウェアのインストール.....	47
付録	49
レポートの例.....	49
試験結果レポート.....	50
トレンドレポート.....	51
ランキングレポート.....	52
MSS（衛生管理計画）レポート.....	53
“Data Migration”機能対象スプレッドシートファイル形式（テストポイント）.....	54
“Data Migration”機能対象スプレッドシートファイル形式（サンプルプラン）.....	56
“Data Migration”機能対象スプレッドシートファイル形式（試験結果）.....	57
ライセンス契約書.....	59

本書の使用方法

- 本書はデジタルデータのみで提供されており、下記の方法で入手することができます。
 - メニューバーで Help  をクリックして[User Manual]をクリックします。
 - 英語版は www.neogen.com から入手します。日本語版は neogen.jp から入手します。
- 本書は、クリーントレース™ 衛生管理ソフトウェアを使用する手順について説明したものです。目次で所定の作業を見つけて手順を確認できるように構成されています。
- ソフトウェアの使用手順についての説明では、下記のような表記を行っています。
 - 本書の各項のタイトルは、『』で表記されています。
 - 画面に表示される文字は、“ ”で表記されています。
 - 画面上でクリックするボタン類は、[]で表記されています。
 - 手順についての説明で番号が付いているものは、その順序で実施してください。丸が付いているものは、任意の順序で実施してかまいません。

クリーントレース™ 衛生管理ソフトウェアのインストール

コンピューターのスペックによってはインストールに 30 分ほどかかる場合があります。

コンピューターが最低限の条件を満たしていることを確認する

- Microsoft® Windows® 7 (32-bit/64-bit)、Microsoft® Windows® 8 (32-bit/64-bit)、Microsoft® Windows® 8.1 (32-bit/64-bit) Windows®10 の何れかの OS
- 2.0 GHz Intel® Pentium® 4 または同等のプロセッサ
- RAM 1 GB 以上
- 空きディスク容量 10 GB 以上
- USB 2.0 対応

ソフトウェアのバージョンによっては条件が異なる場合があります。

ソフトウェアを 1 台のコンピューターまたはネットワークファイルサーバーにインストールする

クリーントレース™ 衛生管理ソフトウェアをインストールするには、Windows® Administrator としてログインしているか、あるいは Administrators グループに所属していることが必要です。

1. クリーントレース™ 衛生管理ソフトウェアをインストールする前に、なるべく SQL データベースのバックアップをとるようにしましょう。

2. USB ケーブルでクリーントレース™ ATP 測定機器ルミノメーターをコンピューターに接続します。
3. 画面にフラッシュメモリードライブとして表示されている“Clean-Trace”まで移動します。
4. “Clean-Trace”の[Desktop Install Files]中の[Clean Trace Hygiene Management Install Wizard]をダブルクリックしてソフトウェアインストール用のウィザードを起動します。これでウィザードがインストールレーションファイルを解凍しますが、これには通常数分かかります。
5. ウィザード画面用の言語は、▼“言語を選択してください”ドロップダウンメニューで選択します。Microsoft® Windows®の使用言語がデフォルトになっています。[次へ]をクリックします。
6. “ようこそ”画面にインストールの必要条件が表示されます。
 - ソフトウェアのインストールを完了するには、Administrator の権限が必要です。
 - Microsoft® Internet Explorer バージョン 11、Google Chrome™バージョン 45、Mozilla® Firefox® 41.0.1 の何れかが必須です。条件を満たしていることを確認するには、[次へ]をクリックします。
7. “エンドユーザーライセンス契約”画面にエンドユーザーライセンス契約書が表示されますので、お読みください。その内容にご同意いただける場合は、[ライセンス契約の条件に同意します]チェックボックスをクリックします。
 - エンドユーザーライセンス契約書を印刷するには、[印刷]をクリックします。
[次へ]をクリックします。
8. “インストール設定”画面が開きます。[このコンピューターのみ]のチェックボックスをクリックします。[次へ]をクリックします。
 - [既存のデータベースを使用]チェックボックスのみ選択可能な場合は、すでに SQL Server®データベースがこのコンピューターにインストールされています。
 - クリーントレース™ 衛生管理ソフトウェア データベースサーバー用に、既存の SQL Server®データベースを使用してください。どうしても、このコンピューター上で SQL Server®データベースを使用しているアプリケーションには影響しません。自分のコンピューター上の SQL データベースの名前が分からない場合は、Windows の[スタート]ボタンをクリックして[ファイル名を指定して実行...]を選択し、“名前”フィールドに“cmd”を入力して[OK]をクリックします。“>sqlcmd -L”を入力して Enter キーを押します。
 - 以前にクリーントレース™ 衛生管理ソフトウェアをインストールしたコンピューターにもう一度インストールする場合は、“データベースのサーバー名”フィールドに“(自分のコンピューターの名前)¥spark”を入力します。コンピューターの名前を確認するには、Windows の[スタート]ボタンをクリックして[コンピューター]→[システムのプロパティ]の順に選択します。

- [既存のデータベースを使用]チェックボックスと[新しいデータベースをインストール]チェックボックスが選択可能な場合：
 - ネットワーク上の他のコンピューターにインストールされている SQL Server®データベースを使用するには、[既存のデータベースを使用]チェックボックスをクリックします。自分のコンピューター上の SQL データベースの名前が分からない場合は、Windows の[スタート]ボタンをクリックして[ファイル名を指定して実行...]を選択し、“名前”フィールドに“cmd”を入力して[OK]をクリックします。“>sqlcmd -L”を入力して Enter キーを押します。
 - 自分のコンピューターに新しい SQL Server®データベースをインストールするには、[新しいデータベースをインストール]チェックボックスをクリックします。
 - [新しいデータベースをインストール]を選択した場合：
9. 8.で[既存のデータベースを使用]を選択した場合は、“ネットワークデータベース情報”画面が開きます。
- “データベースサーバー名”フィールドのドロップダウンメニューで、自分のファイルサーバー上の SQL Server® Express 2012 データベースを選択します。
あるいは、“データベースサーバー名”フィールドの中をクリックして SQL Server® Express 2012 データベースの名前を入力します。
 - SQL Server 認証を使用する場合は、SQL Server® Express 2012 データベースをアクセスするためのユーザー名とパスワードを入力します。
10. [接続を確認]をクリックします。
11. 接続の確認が終わったら[次へ]をクリックします。
12. “セキュアログインモード”画面が開きます。
- クリーントレース™ 衛生管理ソフトウェアにログインするためのユーザー名とパスワードを作成するには、[アプリケーション固有のログイン情報]チェックボックスをクリックします。
 - 自分のコンピューターにログインするときのユーザー名とパスワードでクリーントレース™ 衛生管理ソフトウェアにログインする場合は、[企業のログイン情報]チェックボックスをクリックします。
- [次へ]をクリックします。
13. “組織情報”画面が開き、ユーザーのログイン方法について詳しい情報を求めてきます。
[アプリケーション固有のログイン情報]を選択した場合：
- “名前”フィールドの中をクリックして姓名の名を入力します。
 - “苗字”フィールドの中をクリックして姓名の姓を入力します。

- “メースアドレス”フィールドの中をクリックしてEメールアドレスを入力します。

クリーントレース™ 衛生管理ソフトウェアにログインするとき：

- “User Name”には、ログイン名（先に入力したEメールアドレス）を入力します。
- “Temporary password”には、仮パスワード“temp123”を入力します。

[企業のログイン情報]を選択した場合：

- “組織名”フィールドの中をクリックして組織名を入力します。
- “名前”フィールドの中をクリックして姓名の名を入力します。
- “苗字”フィールドの中をクリックして姓名の姓を入力します。
- “ユーザー名”フィールドの中をクリックしてコンピューターにログインするときのユーザー名を入力します。

クリーントレース™ 衛生管理ソフトウェアにログインするとき：

- “ユーザー名”には、コンピューターにログインするときのユーザー名を入力します。
- “パスワード”には、コンピューターにログインするときのパスワードを入力します。

[次へ]をクリックします。

14. “インストール先フォルダー”画面が開きます。

- インストール先のフォルダーをデフォルトの“Clean-Trace Hygiene Management”から変更するには、[参照する]をクリックして目的のフォルダーまで移動します。
- デスクトップのショートカットを作成しない場合は、[デスクトップショートカット]チェックボックスをクリックして選択を解除します。

[次へ]をクリックします。

15. “インストールの準備ができました”画面が開きます。ここでインストール用のオプション設定を確認します。

- 設定内容が正しければ、[次へ]をクリックします。
- 設定内容が間違っている場合、前画面に戻ってオプション設定をやり直すには、[前へ]をクリックします。
- インストールを中止するには、[キャンセル]をクリックします。この場合は、インストールを最初からやり直してください。

16. “インストールの進捗”画面が開きます。プログレスバーでインストールの完了を確認したら、[次へ]をクリックします。

17. “インストールの完了”画面が開きます。これでインストールは正常に完了しましたので、[終了]をクリックします。

18. なるべくコンピューターを再起動するようにしてください。

ソフトウェアをネットワークワークステーションにインストールする

クリーントレース™ 衛生管理ソフトウェアをインストールするには、Windows® Administratorとしてログインしているか、あるいはAdministratorsグループに所属していることが必要です。

1. クリーントレース™ 衛生管理ソフトウェアをインストールする前に、なるべく SQL データベースのバックアップをとるようにしましょう。
2. USB ケーブルでクリーントレース™ ATP 測定機器ルミノメーターをコンピューターに接続します。
3. 画面にフラッシュメモリードライブとして表示されている“Clean-Trace”まで移動します。
4. “Clean-Trace”の中の [Desktop Install Files]中の[Clean Trace Hygiene Management Install Wizard]ダブルクリックしてソフトウェアインストール用のウィザードを起動します。これでウィザードがインストールセッションファイルを解凍しますが、これには通常数分かかります。
5. ウィザード画面用の言語は、▼“Select a language”ドロップダウンメニューで選択します。Microsoft® Windows®の使用言語がデフォルトになっています。[Next]をクリックします。
6. “Welcome”画面にインストールの必要条件が表示されます。
 - ソフトウェアのインストールを完了するには、Administrator の権限が必要です。
 - SQL Server® 2012 R2 Express を Windows® 8 コンピューターにインストールする場合は、インストール作業中にインターネットへのアクセスが必須となります。
 - Microsoft® Internet Explorer バージョン 11、Google Chrome™バージョン 45、Mozilla® Firefox® 41.0.1 の何れかが必須です。条件を満たしていることを確認するには、[次へ]をクリックします。
7. “エンドユーザーライセンス契約”画面にエンドユーザーライセンス契約書が表示されますので、お読みください。その内容にご同意いただける場合は、[ライセンス契約の条件に同意します]チェックボックスをクリックします。
 - エンドユーザーライセンス契約書を印刷するには、[印刷]をクリックします。[次へ]をクリックします。
8. “インストールの設定”画面が開いてコンピューターの構成を尋ねてきます。
 - a. [カスタムインストールコンポーネント (詳細)]をクリックします。
 - b. [同期マネージャー]チェックボックスをクリックして[OK]をクリックします。
 - c. [次へ]をクリックします。
 - d. [接続を確認]をクリックします。





- e. “接続が正常に確認されました”というメッセージが表示されたら、[OK]をクリックします。
 - f. [次へ]をクリックします。
9. “インストール先フォルダー”画面が開きます。
- インストール先のフォルダーをデフォルトの“Clean-Trace Hygiene Management”から変更するには、[確認]をクリックして目的のフォルダーまで移動します。
 - デスクトップのショートカットを作成しない場合は、[デスクトップショートカット]チェックボックスをクリックして選択を解除します。
 - クイック起動のショートカットを作成しない場合は、[ショートカット]チェックボックスをクリックして選択を解除します。
- [次へ]をクリックします。
10. “インストールの準備ができました”画面が開きます。ここでインストール用のオプション設定を確認します。
- 設定内容が正しければ、[次へ]をクリックします。
 - 設定内容が間違っている場合、前画面に戻ってオプション設定をやり直すには、[前へ]をクリックします。
 - インストールを中止するには、[キャンセル]をクリックします。
11. “インストールの進捗”画面が開きます。プログレスバーでインストールの完了を確認したら、[次へ]をクリックします。
12. “インストールの完了”画面が開きます。これでインストールは正常に完了しましたので、[終了]をクリックします。
13. なるべくコンピューターを再起動するようにしてください。

クリーントレース™ 衛生管理ソフトウェアの使用方法


サイドバーメニューの使用方法

サイドバーメニューは全画面の左側に表示されます。




サイドバーメニューのアイコン

アイコン	名前	動作
	ホームページ	“ダッシュボード”画面へ移動
	レポート	“レポート”画面へ移動
	プランの管理	“プランの管理”画面へ移動
	設定	“システムのセットアップ”画面へ移動


コモンタスクメニューの使用方法

ほとんどの画面には、 [レポートの表示]など、そこでよく行われる作業がコモンタスクとして、メニューにまとめられています。

ユーザー名によるログイン

- クリーントレース™ 衛生管理ソフトウェアの起動：
 - Windows の[スタート]メニューで[すべてのプログラム]を選択します。
 - Clean-Trace の項目を選択します。
 - あるいは、デスクトップで Clean-Trace のショートカットをダブルクリックします。
-  フィールドにユーザー名を入力し、 フィールドにパスワードを入力します。
 - パスワードを入力中に表示させるには、 をクリックします。
 - パスワードを忘れた場合は、[パスワードを忘れた場合]をクリックして秘密の質問への答えを入力します。
- ソフトウェアにはタイムアウト機能があり、キーボードやマウスが 30 分間使用されないと時間切れになります。その後にキーボードやマウスを使用するとログイン画面が開きますので、ログインをやり直してください。

サインアウト

- ユーザー名の脇の  をクリックします。
- [ログアウト]を選択します。“ログイン”ウィンドウが開いて別のユーザーがログインできるようになります。詳しくは、『ユーザー名によるログイン』を参照してください。
 - ソフトウェアからのログアウトで行われる処理：

- 現在のユーザーがログアウトされます。
- 接続機器がすべて待機モードになります。
- “ログイン”ウィンドウへ移動します。

ソフトウェアのシャットダウン

1. ウェブブラウザで **X**“Close”をクリックするか、メニューバーで[File] → [Exit]の順に選択します。
2. ソフトウェアのシャットダウンで行われる処理：
 - 現在のユーザーがログアウトされます。
 - 入力したまま保存していない情報を保存するか尋ねてきます。
 - ソフトウェアが終了します。

ソフトウェア初回使用時のシステム設定

クリーントレース™ 衛生管理ソフトウェアのインストール後に初めて起動すると、“Clean-Trace 衛生マネジメントシステムへようこそ”画面が開きます。この画面は、2 回目以降の起動時には現れません。

- システム設定に必要な情報を入力するには、[続行]をクリックします。
- 以下の設定画面 1~9 に、この順序で必要な情報を入力してください。この設定が終わると、クリーントレース™ 衛生管理ソフトウェアの他の画面や Sync Manager が使用できるようになります。

クリーントレース™ 衛生管理ソフトウェアでは、まず“ユーザー検査”画面が表示されてシステム設定のプロセスがスタートします。その後は自動的に次の設定画面へ進み、設定情報の入力が終わるまでこれが繰り返されます。

1. データのポイント	2. 物理的な場所 (ロケーション)	3. テスト変数	4. 既定値	5. テストポイント	6. コメント	7. 役割	8. ユーザー	9. サンプルプラン
-------------	--------------------	----------	--------	------------	---------	-------	---------	------------

初回のシステム設定完了後に設定情報の変更が必要になった場合は、サイドバーメニューまたはコマンドスクリーンでエラーの訂正や情報の追加を行ってください。設定項目の確認は本書の目次から行えます。

ユーザー設定

1. “言語設定”ドロップダウンメニューでは、ユーザーインターフェース用の言語を選択します。
2. “パスワードリセット用の秘密の質問”ドロップダウンメニューでは、パスワード忘れのためリセットするときに答える秘密の質問を選択します。
3. “パスワードリセット用の秘密の質問の答え”フィールドの中をクリックし、秘密の質問への答えを入力します。
4. “PIN コードを変更”フィールドの中をクリックし、クリーントレース™ ATP 測定機器ルミノメーターへログインするための PIN (Personal ID Number) コードを入力します。PIN コードは 4 桁の数字で入力してください。
 - PIN コードを表示させるには、[PIN コードの表示]チェックボックスをクリックします。
5. [保存]をクリックします。

組織の構成の設定

- “組織名”フィールドの中をクリックし、レポートの見出しにある組織名を入力します。半角

50 文字以内で入力してください。

- レポートの見出しにロゴを追加するには、[ロゴの変更]をクリックしてロゴの画像ファイルまで移動します。
- E メール通知を使用可能にするには、[はい]チェックボックスをクリックします。これで E メール通知用のフィールドが表示されますので、各フィールドの中をクリックして所定の情報を入力します。

ユーザー名	この情報は IT サポートから入手してください。
SMTP サーバー名	この情報は IT サポートから入手してください。
セキュアメールサーバー	この情報は IT サポートから入手してください。
ポート番号	この情報は IT サポートから入手してください。
ドメイン	この情報は IT サポートから入手してください。
メールアドレス	E メール通知に表示される発信元アドレス
パスワード	この情報は IT サポートから入手してください。

- “タイムゾーン”ドロップダウンメニューでは、タイムゾーンを選択します。
- “日付の形式”ドロップダウンメニューでは、以下の中から年月日の形式を選択します。
 - MM/dd/yyyy (月/日/年)
 - dd/MM/yyyy (日/月/年)
 - yyyy/MM/dd (年/月/日)
- 数値の形式を選択します。
 - ピリオドを小数点記号にするには、[米国]チェックボックスをクリックします。
 - カンマを小数点記号にするには、[欧州]チェックボックスをクリックします。
- 強いパスワードを要求するには、“強力なパスワードを有効化”の[はい]チェックボックスをクリックします。
 - パスワードの長さを半角 8~20 文字にします。
 - パスワードに以下のうち 3 項目を含めます。
 - 1 つ以上の数字
 - 1 つの大文字
 - 1 つの特殊文字
 - 1 つの小文字
 - パスワードで大文字・小文字を区別します。
 - パスワードのコピー&ペーストを禁止します。

強いパスワードを要求しない場合は、[いいえ]チェックボックスをクリックします。

- パスワードの文字数を指定しません。
- パスワードの文字種を指定しません。
- パスワードで大文字・小文字を区別しません。
- パスワードのコピー&ペーストを禁止しません。
- ルミノメーターへのログイン時にテストの実行者に 4 桁の PIN を入力させるには、“ルミノメーターの PIN を有効にする”の[はい]チェックボックスをクリックします。
- テストポイントごとに個別の合格レベルと不合格レベルを設定できるようにするには、“テストポイントごとに合格/不合格基準の設定を有効にする”の[はい]チェックボックスをクリックします。
- 試験結果をクリーントレース™ 衛生管理ソフトウェアへ転送した後にクリーントレース™ ATP 測定機器ルミノメーターでデータを保管する日数を指定するには、“同期後、次の期間ルミノメーターに結果を保存”フィールドの中をクリックして日数を入力します。デフォルトは 7 日間になっています。
 - この日数の間は、必要に応じて試験結果を再送することができます。
- “温度の単位”で温度の単位を選択します。
 - 華氏を使用するには、[華氏]チェックボックスをクリックします。
 - 摂氏を使用するには、[摂氏]チェックボックスをクリックします。
 1. [保存]をクリックします。
 2. 変更内容を保存するには、[はい]をクリックします。

データをインポートする

- クリーントレース™ データトレンドリングソフトウェアのデータベース (B_BiotrackPlus.mdb) からデータをインポートするには、[クリーントレース™ データトレンドリングシステム]チェックボックスをクリックします。
 1. [ファイルを選択]をクリックしてクリーントレース™ データトレンドリングソフトウェアのデータベースを選択します。
 2. [インポート]をクリックします。
 3. インポートが完了すると“結果”タブが開き、インポートされたデータエレメント（ロケーション、テストポイント、監査ログ）の個数が表示されます。選択したデータベースファイルの中でインポートされなかったデータエレメントについての警告も表示されます。
- データをスプレッドシートからインポートするには、[その他]チェックボックスをクリックします。

1. “テストポイントファイル”の[ファイルの選択]をクリックします。
2. インポートするテストポイント情報を含むスプレッドシートファイルまで移動して選択します。“ファイルを選択”の横にスプレッドシートファイルの名前が表示されますので、正しいファイルが選択されていることを確認します。
3. “サンプルプランファイル”の[ファイルを選択]をクリックします。
4. レガシーシステムからエクスポートされたサンプルプラン情報を含むスプレッドシートファイルまで移動して選択します。“ファイルを選択”の横にスプレッドシートファイルの名前が表示されます。
5. クリーントレース™ データトレンディングソフトウェアのデータベースから情報をインポートするには、[UNG3 互換]チェックボックスをクリックします。これで、ステップ7で説明する各フィールドのカラム名が自動的に選択されます。
 - [UNG3 互換]チェックボックスをクリックしなければ、インポートした試験結果は“選択”と表示されます。
6. [インポート]をクリックします。
7. 各フィールド名の▼ドロップダウンメニューをクリックし、そのフィールドにインポートする情報を含むスプレッドシートファイル内のカラム名を選択します。情報のインポート先のフィールド名が左側に表示され、インポートするスプレッドシートファイル内のカラム名のドロップダウンメニューが右側に表示されます。詳しくは、『“Data Migration”機能対象スプレッドシートファイル形式（テストポイント）』を参照してください。
 - a. アスタリスク（*）付きのフィールド名は必須フィールドです。
8. [継続]をクリックして情報のインポートをスタートします。
9. さらにインポートを行うには[さらにデータをインポート]をクリックします。
 - 試験結果記録の重複はチェックされません。重複した試験結果をインポートした場合は、そのままクリーントレース™ 衛生管理ソフトウェアのダッシュボードとレポートに現れます。
10. [保存して続行]をクリックします。

ロケーションの設定

工場内のテストポイントがあるロケーションおよびこうしたロケーションのカテゴリーを設定するには、“物理的な場所（ロケーション）”機能を使用します。

- “データのインポート”機能でデータをインポートしてあれば、インポートしたロケーションが自動的に表示されます。このようなロケーションのデフォルトのレベル名は、“レベル 1” “レベル 2” ...となります。

- 必要に応じて、ロケーションレベル 1~4（ロケーションのカテゴリー）を使用します。不要なロケーションレベルは削除してもかまいませんが、少なくとも 1 つは残しておきます。また、ロケーションレベルを追加すると、一番下に加わります。
- 各々のロケーションレベルは、その上位に表示されるロケーションレベルのサブセットです。例えば、デフォルトのロケーションレベルにおける上下関係は、下記のようになっています。
 - ロケーションレベル“Line”は、ロケーションレベル“Department”のサブセット
 - ロケーションレベル“Department”は、ロケーションレベル“Building”のサブセット
 - ロケーションレベル“Building”は、ロケーションレベル“Plant”のサブセット
- ロケーションの設定手順を表示させるには、❶ “Information”をクリックします。
- 各ロケーションレベルについて、ロケーションを少なくとも 1 つ設定してください。
- ロケーションの設定は、一番上のロケーションレベルからスタートします。デフォルトでは、“Plant”が一番上のロケーションレベルになっています。
- ロケーションレベル名の変更：
 1. 変更するロケーションレベル名の✎をクリックします。
 2. “レベル名”フィールドの中をクリックし、新しいロケーションレベル名を入力します。半角 15 文字以内で入力してください。
 - 変更内容を保存しないで破棄するには、[キャンセル]をクリックします。
 3. [保存]をクリックします。
 4. 変更内容を保存するには、[はい]をクリックします。
- 不要なロケーションレベルを削除するには、そのレベル名の✕をクリックします。
- ロケーションレベルに対するロケーション名の追加：
 1. レベル名の⊕をクリックします。
 2. “場所（ロケーション）の名前”フィールドの中をクリックして新しいロケーション名を入力します。
 - ロケーションについての補足情報を追加するには、“追加の情報”フィールドの中をクリックして補足情報を入力します。
 - 変更内容を保存しないで破棄するには、[キャンセル]をクリックします。
 3. [保存]をクリックします。
- ロケーション名の削除：
 1. バーの中でロケーション名をクリックします。
 2. [削除]をクリックします。

- ロケーション名の変更：
 - バーの中でロケーション名をクリックします。
 - Backspace キーで現在のロケーション名を削除して新しいロケーション名を入力します。
 - [保存]をクリックします。

試験変数の設定

- “データのインポート”機能でデータをインポートしてあれば、インポートした試験変数が自動的に表示されます。
- 使用するテストタイプ名のチェックボックスをクリックします。

テストタイプ名	製品名
<input type="checkbox"/> UXL100 (表面測定)	クリーントレース™ ATP 測定用試薬 UXL100
<input type="checkbox"/> AQF100	この項目は使用しません。
<input type="checkbox"/> AQT200 (水中測定)	クリーントレース™ 水中 ATP 測定用試薬 AQT200
<input type="checkbox"/> Visual Inspection	目視検査

- クリーントレース™ ATP 測定機器ルミノメーターとクリーントレース™ 衛生管理ソフトウェアでカスタムテストの試験結果を収集するには、“カスタムテストを追加”の▼をクリックします。
 - 使用する既定カスタムテストのチェックボックスをクリックします。
 - pH
 - Temperature
 - Chemical Residue
 - オリジナルのカスタムテストを設定するには、“Other Test Type” 1~4 のチェックボックスをどれか 1 つクリックし、該当するフィールドの中をクリックしてカスタムテストの名前を入力します。
 - Other Test Type 1
 - Other Test Type 2
 - Other Test Type 3
 - Other Test Type 4

テストパラメーターの設定

- ▼をクリックして“テストパラメーターを追加”オプションを表示させます。
 テストパラメーターは、レポートのソートに使用するテストポイント関連情報です。例えば、“Chemical Name”はデフォルト試験変数の 1 つで、テストポイント洗浄剤の種類を設定するときに使用します。これによって、レポートに含める洗浄剤を選択できるようになります。例えば、酸性洗浄剤で洗浄するテストポイントをすべて含むレポートの作成などが可能です。

2. 既定のパラメーターを使用するには、そのチェックボックスをクリックします。
 - Chemical Name
 - Tool Name
 - Cleaning Method
 - Cleaning Frequencyカスタムのパラメーターを設定するには、“UD” (User Defined) 1～3 のチェックボックスをクリックします。
 - UD1→フィールドの中をクリックして“UD1”を削除し、別途に名前を入力
 - UD2→フィールドの中をクリックして“UD2”を削除し、別途に名前を入力
 - UD3→フィールドの中をクリックして“UD3”を削除し、別途に名前を入力
3. パラメーター名の設定が終わったら、選択状態のパラメーター名の中に格納できる一連の数値を入力します。テストポイントの設定・編集時には、テストポイントと一緒に格納する数値をこれらの数値の中から選択します。詳しくは、『テストポイントの設定』を参照してください。
 - a. 番号が付いたパラメーター名のフィールドの中をクリックし、パラメーター名を削除してから値を入力します。
 - b. “Test Point Set Up”画面と“Edit Test Point”画面で使用するリストにこの値を追加するには、[_は、適用可能]チェックボックスをクリックします。
 - 変更内容を保存しないで破棄するには、[キャンセル]をクリックします。
4. [保存]をクリックします。
5. 変更内容を保存するには、[はい]をクリックします。

デフォルト値の設定

すべてのテストポイントに適用されるデフォルトの合格・不合格レベルを設定しておく、時間の節約になります。この場合も、各テストポイントの合格・不合格レベルは個別に編集することができます。

1. デフォルト合格・不合格レベルの設定についての情報を表示させるには、**①** をクリックします。
2. テストタイプ用の[この検査の種類に対する既定の合格 /不合格の値を指定します]チェックボックスをクリックします。
3. デフォルト合格・不合格レベルを設定するには、“テストタイプ値”リストの中で試薬用のチェックボックスをクリックします。
 - テストタイプ名が長すぎて全体が見えない場合は、そこにカーソルを重ねると全体が表示されます。
4. 数値のデフォルト値を設定するには、[Numeric]チェックボックスをクリックします。合格・

不合格のデフォルト値を設定するには[Pass/Fail]チェックボックスをクリックします。ATP 試薬のデフォルト値は常に“Numeric”、目視検査のデフォルト値は常に“Pass/Fail”です。

5. 試薬ごとに“合格値”フィールドの中をクリックして合格レベルを入力します。
6. 試薬ごとに“不合格値”フィールドの中をクリックして不合格レベルを入力します。
 - 変更内容を保存しないで破棄するには、[キャンセル]をクリックします。
7. [保存]をクリックします。
8. 変更内容を保存するには、[はい]をクリックします。

テストポイントの設定

“Data Migration”機能でデータをインポートしてあれば、インポートしたテストポイントのほかに追加作成したテストポイントも自動的に表示されます。

- リストをソートするには、カラム見出しをクリックします。例えば、リストをロケーションでソートする場合は、“場所（ロケーション）”をクリックします。
 - テストポイント名が長すぎて全体が見えない場合は、そこにカーソルを重ねると全体が表示されます。
 - テストポイント名がすでに作成済みかどうか確認するには、“テストポイントを表示”フィールドの中をクリックしてテストポイント名を入力します。テストポイント名のリストには、このテストポイント名と一致するものだけが表示されますので、何も表示されない場合は未作成ということになります。
1. 新規のテストポイント名を作成するには、➕“テストポイント（複数）を作成”をクリックします。
 - 各フィールド名に対応するフィールドの中をクリックしてテストポイント情報を入力します。
 - 既定のテストタイプを選択するには、“検査の種類”ドロップダウンメニューを使用します。
 - このテストポイントだけに合格・不合格レベルを設定するには、[合格 /不合格の基準を変更]チェックボックスをクリックして合格レベルと不合格レベルを設定します。
 - スライダー上の白い丸をクリック&ドラッグします。
 - あるいは、“合格”フィールドの中をクリックして合格レベルを入力し、“不合格”フィールドの中をクリックして不合格レベルを入力します。
 - 1,000 超の合格・不合格レベルを設定するには、フィールドの中をクリックして数値を入力します。
 - “Chemical Name” “Tool Name” “Cleaning Method”などのテストパラメーターを使用する

場合は、各々のドロップダウンメニューからこのテストポイント用の既定値を選択します。

- “名前”フィールドと“説明”フィールドでは、“<” “>” “%” “~”が使用できません。
- このテストポイントの物理的ロケーションを選択するには、“場所（ロケーション）の管理”リストでロケーションのチェックボックスをクリックします。数ヶ所のチェックボックスをクリックすると、“確認”ウィンドウが開いて確認を求めてきます。確定するには[はい]をクリックし、他のロケーションを選択するには[いいえ]をクリックします。
- クリーントレース™ ATP 測定機器ルミノメーター側のサンプルプランにこのテストポイント名が現れたとき、その画像をルミノメーターの画面に表示させるには、[ファイルを選択]をクリックしてテストポイントのデジタル画像ファイルを選択します。画像の画面表示は、ルミノメーター側の画面表示と同様に行われます。
- 変更内容を保存しないで破棄するには、[キャンセル]をクリックします。

2. [保存]をクリックします。

コメントの設定


1. 新規のコメントを作成するには、⊕“コメントを追加”をクリックします。
2. “コメント”フィールドの中をクリックしてコメントを入力します。
 - “名前”フィールドと“説明”フィールドでは、“<” “>” “%” “~”が使用できません。
 - 変更内容を保存しないで破棄するには、[キャンセル]をクリックします。
3. [保存]をクリックします。
4. 変更内容を保存するには、[はい]をクリックします。

役割の設定

ユーザーの設定を行うときには、必ず各々について役割を選択してください。ユーザーが利用できるソフトウェア機能は、その役割によって決まります。役割に応じたアクセス権は、デフォルトでは下表のようになっています。

業務/役割	上位管理者	管理者	技術者（測定者）
ユーザー管理	フルアクセス	読み取りアクセス	アクセス不可
プランの管理	フルアクセス	フルアクセス	読み取りアクセス
ルミノメーターの管理	フルアクセス	読み取りアクセス	アクセス不可
ルミノメーターの管理	フルアクセス	フルアクセス	読み取りアクセス
試験結果の管理	フルアクセス	読み取りアクセス	読み取りアクセス
データベースの管理	フルアクセス	アクセス不可	アクセス不可
レポート	フルアクセス	フルアクセス	フルアクセス


ログ	フルアクセス	読み取りアクセス	アクセス不可
組織の設定	フルアクセス	読み取りアクセス	アクセス不可

1. 編集する役割の  をクリックします。
2. 編集する役割のアクセスレベルのチェックボックス (“フルアクセス” “読み取りアクセス” “アクセス不可”のどれか) をクリックします。
 - 変更内容を保存しないで破棄するには、[キャンセル]をクリックします。
3. [保存]をクリックします。
4. 変更内容を保存するには、[はい]をクリックします。

ユーザーの設定

設定対象の各ユーザーについて、下記の情報を用意しておきます。





役職	役職名 (省略可)
名 *	姓名のうちの「名」
姓 *	姓名のうちの「姓」
役割 *	“上位管理者” “管理者” “技術者(測定者)”の何れか
ログイン名 *	クリーントレース™ 衛生管理ソフトウェアへのログインに使用するログイン名
メールアドレス *	E メールアドレス
電話番号	電話番号 (省略可)
PIN コード *	クリーントレース™ ATP 測定機器ルミノメーターへのログインに使用する PIN コード (パスワード)
注記	備考 (省略可)
ステータス	ユーザー追加時に“Active”に自動設定

1.  “ユーザーを追加”をクリックします。
2. 各フィールド名に対応するフィールドの中をクリックしてユーザー情報を入力します。
3. “役割”ドロップダウンメニューで既定の役割を選択します。
4. “ステータス”ドロップダウンメニューで既定のステータスを選択します。デフォルトは“アクティブ”です (ユーザー追加時に自動設定)。
 - アスタリスク (*) 付きのフィールド名は必須フィールドです。
 - “役職” “名前” “姓” “Notes”の各フィールドでは、“<” “>” “%” “~”が使用できません。
 - “メールアドレス”フィールドには Example.name@neogen.com 形式で入力します。この E メールアドレスは、クリーントレース™ 衛生管理ソフトウェアへのログイン時にユーザー名として使用します。
 - “電話番号”フィールドでは、数字とカンマ (,) のみ使用可能です。

- “Pin コード”フィールドでは、数字のみ使用可能です。PIN コードは、クリーントレース™ ATP 測定機器ルミノメーターへのログインに使用する 4 桁の数字です。
 - 新規ユーザーのパスワードは、“temp123”に自動設定され、新規ユーザーが初回ログイン時に変更するまでそのままの状態になります。
 - 変更内容を保存しないで破棄するには、[キャンセル]をクリックします。
5. [保存]をクリックします。
 6. 変更内容を保存するには、[はい]をクリックします。
 7. ここで追加する各ユーザーに対して、クリーントレース™ 衛生管理ソフトウェアへのログイン用リンクが貼られたメールが送付されます。

全テストポイント共通のサンプルプランを設定する



“Data Migration”機能でデータをインポートしてあれば、インポートしたサンプルプランが自動的に表示されます。テストポイント名を一覧表示させてサンプルプランに個別または一括登録するテストポイント名を選択するには、“全て”オプションを使用します。



- 作成済みサンプルプランが一覧表示されます。リストをソートするには、カラム見出しをクリックします。例えば、リストをテストポイント名でソートする場合は、“名前”をクリックします。
 - サンプルプランを編集するには、サンプルプラン名をクリックします。
 - サンプルプランの詳細を表示させるには、その①をクリックします。“サンプルプランの詳細”画面では、以下のコモンタスクを使用します。
 - サンプルプランを編集するには、“プランの管理”をクリックします。
 - サンプルプランについてスケジュールの反復やテストポイントのランダム登録を編集するには、“編集サンプルプラン”をクリックします。
 - ユーザーを追加・編集するには、“ユーザーを追加編集”をクリックします。
1. “サンプルプランを追加”をクリックします。
 2. “サンプルプランの名称”フィールドの中をクリックしてサンプルプラン名を入力します。
 - サンプルプランについての説明を追加するには、“説明”フィールドの中をクリックして説明を入力します。
 3. [全て]チェックボックスをクリックします。エリアに既存のテストポイントが一覧表示されます。
 - 既存のテストポイント名の中に特定のテストポイント名がすでにあるかどうか確認するには、“検索”フィールドの中をクリックしてそのテストポイント名を入力します。

4. テストポイントをサンプルプランに追加するには、テストポイントのチェックボックスをクリックして→“追加”をクリックします。これで、そのテストポイント名が“テストポイントの表示”ボックスから“サンプルプランのテストポイント”ボックスへ移ります。
5. テストポイントをサンプルプランから削除するには、テストポイントのチェックボックスをクリックして←“削除”をクリックします。これで、そのテストポイント名が“サンプルプランのテストポイント”ボックスから“テストポイントの表示”ボックスへ戻ります。
 - テストポイントはサンプルプランに追加した順序で、クリーントレース™ ATP 測定機器ルミノメーター側のサンプルプランに表示されます。
 - テストポイント名のリスト全体を表示させるには、縦のスクロールバーを使用します。
 - 複数のテストポイント名を選択して一括して“サンプルプランのテストポイント”ボックスへ移すこと、“テストポイントの表示”ボックスへ戻すことができます。
 - 変更内容を保存しないで破棄するには、[キャンセル]をクリックします。
6. [保存]をクリックします。
7. サンプルプランのスケジューリングを行う“2. スケジュール”タブが自動的に表示されます。詳しくは、『サンプルプランのスケジューリング』を参照してください。

ロケーション別のサンプルプランを設定する




特定のロケーションに関連付けられたテストポイントだけをサンプルプランに登録するには、“場所（ロケーション）別”オプションでロケーションを一覧表示させてその中から選択します。

- 作成済みまたは“Data Migration”機能でインポート済みのサンプルプランが一覧表示されません。
- “Data Migration”機能でインポートしたサンプルプランは、クリーントレース™ ATP 測定機器ルミノメーターへ転送する前に、ユーザーに割り当ててください。
- リストをソートするには、カラム見出しをクリックします。例えば、リストをテストポイント名でソートする場合は、“名前”をクリックします。
- サンプルプラン名が長すぎて全体が見えない場合は、そこにカーソルを重ねると全体が表示されます。
- サンプルプランを編集するには、サンプルプラン名をクリックします。
- サンプルプランの詳細を表示させるには、その①をクリックします。“サンプルプランの詳細”画面では、以下のコモンタスクを使用します。
 - サンプルプランを編集するには、“編集サンプルプラン”をクリックします。
 - サンプルプランについてスケジュールの反復やテストポイントのランダム登録を編集するには、“スケジュールを編集”をクリックします。




- ユーザーを追加・編集するには、 “ユーザーを追加編集”をクリックします。
- サンプルプランの全テストポイントに合格・不合格レベルを適用するには、 “合格/不合格基準を適用”をクリックします。
 - [検査の種類]チェックボックスをクリックします。
 - “合格”フィールドの中をクリックして合格レベルを入力します。
 - “不合格”フィールドの中をクリックして不合格レベルを入力します。
 - サンプルプランの全テストポイントに合格・不合格レベルを適用するには、[全てのテストポイントに適用]チェックボックスをクリックします。
- デフォルトの合格・不合格レベルを使用するテストポイントだけに合格・不合格レベルを適用するには、[テストポイントに選定の基準値を適用]チェックボックスをクリックします。
 1. “サンプルプランの名称”フィールドの中をクリックしてサンプルプラン名を入力します。
 - サンプルプランについての説明を追加するには、“説明”フィールドの中をクリックして説明を入力します。
 2. [場所（ロケーション）別]チェックボックスをクリックしてロケーションを一覧表示させます。ここに表示されるロケーションは、『テストポイントの設定』でこれらのテストポイントに関連付けられたものです。詳しくは、『テストポイントの設定』を参照してください。
 - ロケーションに関連付けられたテストポイントを表示させるには、ロケーションの▶をクリックします。
 - ロケーションに関連付けられたテストポイントの表示をやめるには、▲をクリックします。
 - 新規のテストポイントを作成するには、 “テストポイント（複数）を作成” をクリックします。これで“テストポイント（複数）”画面が開きます。新規テストポイントの作成が終わると、“Create New Sample Plan”画面で新規テストポイントをサンプルプランに追加できるようになります。
 3. ロケーションに関連付けられたテストポイントをすべて移動させるには、ロケーション名を選択して→“追加”をクリックします。これで、このロケーションに関連付けられたテストポイントが“サンプルプランのテストポイント”エリアに移ります。
 - 変更内容を保存しないで破棄するには、[キャンセル]をクリックします。
 4. [保存して続行]をクリックします。
 5. サンプルプランのスケジューリングを行う“2. スケジュール”タブが自動的に表示されます。詳しくは、『サンプルプランのスケジューリング』を参照してください。

テストポイントをサンプルプランにランダム登録する




無作為にテストポイントを抽出して測定することができます。

1. サンプルプランの編集中ならば、サイドバーメニューで  “プランの管理” をクリックし、次に“サンプルプラン”リストでサンプルプラン名をクリックします。
 - あるいは、 “Home” をクリックして  “サンプルプランを編集” をクリックします。
 - サンプルプラン内の一部のテストポイントについて、サンプルプランにランダム登録されるようスケジューリングするには、“ランダム化”の[はい]チェックボックスをクリックします。
 - 左のボックスのサンプルプラン中のテストポイントから、ランダムに測定したい場所のチェックボックスにチェックを入れて、追加をクリックします。
2. [次へ] をクリックしてサンプルプランのスケジュールを保存します。
 - サンプルプランをユーザーに割り当てる“3. 割り当て”タブが自動的に表示されます。詳しくは、『サンプルプランをユーザーに割り当てる』を参照してください。

サンプルプランをユーザーに割り当てる

1. サンプルプランの編集中ならば、サイドバーメニューで  “プランの管理” をクリックします。
2. あるいは、“サンプルプラン”リストでサンプルプラン名をクリックします。
 - あるいは、 “Home” をクリックして  “サンプルプランを編集” をクリックします。
 - このサンプルプランを割り当てるユーザーを選択するには、“割り当てられたユーザー”ドロップダウンメニューを使用します。
 - すべてのユーザーを選択するには、[オール]チェックボックスをクリックします。
 - 変更内容を保存しないで破棄するには、[キャンセル]をクリックします。
3. ユーザーへの割り当てを保存するには、[終了] をクリックします。

“Data Migration”機能で試験結果をインポートする

1. サイドバーメニューで  “レポート” をクリックし、共通のタスクで  “テスト結果を追加編集” をクリックして  “データのインポート” をクリックします。
2. 試験結果ファイル（クリーントレース™ データトレンドングソフトウェア Ver. 5.03 のデータベース）の[ファイルを選択]をクリックします。
3. レガシーシステムからエクスポートされた試験結果情報を含むスプレッドシートファイルまで移動して選択します。“ファイルを選択”の横にスプレッドシートファイルの名前が表示されます。

4. クリーントレース™ データレンディングソフトウェアのデータベースから情報をインポートするには、その他のチェックボックスにチェックを入れて、[UNG3 互換]チェックボックスをクリックします。これで、ステップ6で説明する各フィールドのカラム名が自動的に選択されます。
5. [Upload]をクリックします。
6. 各フィールド名の▼ドロップダウンメニューをクリックし、そのフィールドにインポートする情報を含むスプレッドシートファイル内のカラム名を選択します。詳しくは、『“Data Migration”機能対象スプレッドシートファイル形式（試験結果）』を参照してください。
 - アスタリスク（*）付きのフィールド名は必須フィールドです。
7. [続行]をクリックしてテストポイント情報のインポートをスタートします。
8. さらにインポートを行うには[さらにデータをインポート]をクリックし、他の画面に移るにはサイドバーメニューを使用します。



Sync Manager の使用方法


Sync Manager へのログイン

コンピューターを起動すると、Sync Manager が自動的に開きます。このときに Sync Manager にログインすれば、コンピューターを再起動するまで開いたままになります。






- ×“Close”をクリックして閉じてても、Sync Manager は最小化されているだけで動作しています。Sync Manager を最大化するには、Windows のタスクバーで▲“隠れているインジケーターを表示”をクリックして Sync Manager をダブルクリックします。
- Sync Manager が自動的に起動しているとき、ログインする前に閉じた場合：
 1. Windows の[スタート]メニューで[すべてのプログラム]を選択します。
 2. [Clean-Trace] → [Sync Manager]の順に選択します。
- あるいは、デスクトップで Sync Manager のショートカットをダブルクリックします。“User Name”フィールドにユーザー名、“Password”フィールドにパスワードを入力して[OK]をクリックします。

Bluetooth 接続の設定

1. コンピューターで Bluetooth 接続を使用可能にするには、Windows の[スタート]ボタンをクリックして[デバイスとプリンター] → [デバイスの追加]の順に選択します。
2. クリーントレース™ ATP 測定機器ルミノメーターで Bluetooth サービスを使用可能にするには：
 - a. 画面の上部に 1 秒タッチしてから下へスワイプします。
 - b.  をタップします。
 - c.  “Bluetooth”をタップします。
 - d. Bluetooth を ON にするには、[Off]をタップして[On]に切り替えます。ルミノメーターを他の Bluetooth デバイスに認識させるには、[ペア設定したデバイスのみ表示]をタップして[周辺のすべての Bluetooth デバイスに表示]に切り替えます。これで 2 分間のタイマーがスタートし、その間にルミノメーターが他の Bluetooth デバイスとのペアリングを試行します。
3. “デバイスの追加”ウィンドウに戻り、“CT(ルミノメーターの製造番号)”オブジェクトが表示されたらクリックします。[Add Device]をクリックします。
4. クリーントレース™ ATP 測定機器ルミノメーターに戻り、画面に表示される 6 桁の PIN が“デバイスの追加”ウィンドウの 6 桁の PIN と一致していれば、[ペア設定する]をタップします。
5. コンピューターで“Sync Manager”ウィンドウに移ります。

6.  “Settings”をタップします。
7. [Preferred Connection]をタップします。
8. [Bluetooth]をタップします。
9. [Select]をタップします。
10. Sync Manager を起動するには、Windows のタスクバーで▲“隠れているインジケータを表示”をクリックします。Sync Manager をダブルクリックし、クリーントレース™ 衛生管理ソフトウェアと同一のユーザー名とパスワードを指定してログインします。

サンプルプランのスケジューリング


1. サンプルプランの編集中ならば、サイドバーメニューで“プランの管理”をクリックし、次に“サンプルプラン”リストでサンプルプラン名をクリックします。
 - あるいは、 “Home”をクリックして “サンプルプランを編集”をクリックします。
2. “2. Schedule”タブをクリックします。
3. “繰り返しをスケジュール”の[はい]チェックボックスをクリックします。
 - “開始日”フィールドをクリックして開始日時を入力します。
 - あるいは、 “Calendar”をクリックしてカレンダー表示で開始日を選択し、 “Time”をクリックして開始時刻を選択します。
 - サンプルプランを日常的に実施する場合は、“パターンとスケジュール”の[毎日]チェックボックスをクリックします。
 - [時間]フィールドの中をクリックして実施回数を入力します。
 - フィールドの中をクリックして実施間隔（次回開始時までの日数）を入力します。例えば、隔日で実施するには、“1.時間”と“2.日”を入力します。
あるいは、サンプルプランを週単位で実施する場合は、[毎週]チェックボックスをクリックします。
 - サンプルプランを実施する曜日（“月” “火” “水” “木” “金” “土” “日”）のチェックボックスをクリックします（複数可）。
 - [週]フィールドの中をクリックして反復の単位にする週数を入力します。例えば、隔週で月水金に実施するには、“M” “W” “F”を選択して“週”を入力します。
あるいは、サンプルプランを月単位で実施する場合は、[毎月]チェックボックスをクリックします。
 - [月]フィールドの中をクリックして反復の単位にする月数を入力します。例えば、月1回実施するには、“1月”を入力します。
 - サンプルプランを無期限に実施するには、“繰り返しの範囲”の[終了日がありません]チ

チェックボックスをクリックします。

あるいは、サンプルプランの実施を指定の反復回数後に終了させるには、[回後に終了]チェックボックスをクリックします。

○ フィールドの中をクリックして反復回数を入力します。例えば、指定のスケジュールに従い6回実施するには、“6”を入力します。

あるいは、特定の日にサンプルプランの実施を終了させるには、[までに終了]チェックボックスをクリックします。

○ 日付のフィールドの中をクリックして終了日を入力するか、 “Calendar”をクリックして終了日を選択します。

○ スケジュールが正しく設定できたかどうかを確認するには、[プレビュー作成]をクリックします。

4. [次へ]をクリックします。

- サンプルプランをユーザーに割り当てる“3. 割り当て”タブが自動的に表示されます。詳しくは、『サンプルプランをユーザーに割り当てる』を参照してください。

クリーントレース™ ATP 測定機器ルミノメーターUNG3 との同期（一部のバージョンのみ）

1. クリーントレース™ ATP 測定機器ルミノメーターUNG3 の電源を ON にし、USB ケーブルでコンピュータに接続します。
2. Sync Manager を起動します。詳しくは、『Sync Manager へのログイン』を参照してください。
3. クリーントレース™ データトレンドングソフトウェアからクリーントレース™ ATP 測定機器ルミノメーターUNG3 へ送ったサンプルプランとテストポイントを削除するには、[Sync Now]をクリックし、Sync Manager でユーザー名をクリックし、[Delete Sample Plans]をクリックします（この機能は Administrator ユーザーのみ使用可です）。これで、クリーントレース™ 衛生管理ソフトウェアからルミノメーターNG へサンプルプランとテストポイントが送信されます。
4. [Connect Luminometer]をクリックします。
 - Sync Manager にログインしているユーザーが、試験結果担当者として記録されます。
 - Sync Manager にログインしているユーザーに割り当てられたサンプルプランは、クリーントレース™ ATP 測定機器ルミノメーターNG に転送されます。

システム設定情報の追加・編集

パスワードの変更

1. 画面右上の現在のユーザー名の横にある ▼ ドロップダウンメニューをクリックします。
2. [パスワードの変更]を選択します。
3. “古いパスワード”フィールドの中をクリックして旧パスワードを入力します。
4. “新しいパスワード”フィールドの中をクリックして新パスワードを入力します。『組織構成の設定』で強いパスワードを要求することにした場合：
 - パスワードの長さを半角 8~20 文字にします。
 - パスワードに以下のうち 3 項目を含めます。
 - 1 つ以上の数字
 - 1 つの大文字
 - 1 つの特殊文字
 - 1 つの小文字
 - パスワードで大文字・小文字を区別します。
5. “パスワードを再度入力してください”フィールドの中をクリックして新パスワードを再入力します。
 - 各フィールドをクリアして最初からやり直すには、[クリア]をクリックします。
6. [保存]をクリックします。

環境設定の編集

1. ▼ “User Name”ドロップダウンメニューをクリックします。
2. [ユーザー設定]を選択します。環境設定の編集手順は、設定手順と同様です。詳しくは、『環境設定』を参照してください。







プロフィールの編集

1. ▼ “User Name”ドロップダウンメニューをクリックします。
2. [マイプロフィール]を選択します。
3. [編集]をクリックします。
 - フィールドを編集するには、その中をクリックして新しい情報を入力します。
 - [役割]フィールドと[ステータス]フィールドの編集は、ドロップダウンメニューで行い




ます。

- [ステータス]フィールドについて：
 - “アクティブ”ユーザーはログインでき、各々の役割で許可される機能が使用できます。
 - “インアクティブ”ユーザーはログインできません。このユーザーのステータスは、後で“アクティブ”に戻せます。
 - “ロックされました”ユーザーはログインできません。このユーザーのステータスは、後で“アクティブ”に戻せません。
- 4. パスワードを自動的に“temp123”にリセットするには、[パスワードをリセット]をクリックします。
 - 変更内容を保存しないで破棄するには、[キャンセル]をクリックします。
- 5. [保存]をクリックします。




サンプルプランの追加

1. サイドバーメニューで  “プランの管理”をクリックし、次に  “サンプルプランを追加”をクリックします。
 - サイドバーメニューの  “プランの管理”をクリックすると、サンプルプランが一覧表示されます。
 - サンプルプランの詳細を表示させるには、その  をクリックします。
 - あるいは、サイドバーメニューの  “Home”をクリックして  “サンプルプランを追加”をクリックします。
2. サンプルプランの追加手順は、設定手順と同様です。詳しくは、『全テストポイント共通のサンプルプランを設定する』『ロケーション別のサンプルプランを設定する』を参照してください。

サンプルプランの編集

1. サイドバーメニューで  “プランの管理”をクリックします。
 - あるいは、サイドバーメニューの  “Home”をクリックして  “サンプルプランを追加”をクリックします。
2. サンプルプランが一覧表示されます。
 - サンプルプランのリストをソートするには、カラム見出しをクリックします。例えば、サンプルプラン名でソートする場合は、“名前”をクリックします。
3. サンプルプランを編集するには、サンプルプラン名をクリックします。
 - サンプルプランをアクティブでなくするには、“ステータス”ドロップダウンメニューで“イ



ンアクティブ”を選択します。

- サンプルプランの編集手順は、設定手順と同様です。詳しくは、『全テストポイント共通のサンプルプランを設定する』『ロケーション別のサンプルプランを設定する』を参照してください。
4. サンプルプランの詳細を表示させるには、その①をクリックします。
- サンプルプランを編集するには、“編集サンプルプラン”をクリックします。
 - サンプルプランのスケジュールを編集するには、“スケジュールを編集”をクリックします。
 - サンプルプランが割り当てられたユーザーを編集するには、“ユーザーを追加編集”をクリックします。
 - サンプルプランに合格・不合格レベルを適用するには、“合格、不合格基準を適用”をクリックします。

クリーントレース™ ATP 測定機器ルミノメーターとの同期



- Sync Manager が動作していることを確認するには、Windows のタスクバーで▲“隠れているインジケータを表示”をクリックします。Sync Manager をダブルクリックし、クリーントレース™ 衛生管理ソフトウェアと同一のユーザー名とパスワードを指定してログインします。
- クリーントレース™ ATP 測定機器ルミノメーターで同期化をスタートします。詳しくは、『クリーントレース™ ATP 測定機器ルミノメーター ユーザーマニュアル』の『クリーントレース™ ATP 測定機器ルミノメーターとコンピューターのデータベースを同期させる』を参照してください。
- クリーントレース™ ATP 測定機器ルミノメーターの初回の同期化は、必ず USB 接続で行ってください。WiFi または Bluetooth 接続による同期化設定は、その後に行ってください。

コメントの追加


1.  ドロップダウンメニューをクリックします。
2. [コメント]を選択します。
3.  “コメントを追加”をクリックします。
4. “コメント”フィールドの中をクリックして新規のコメントを入力します。
 - アスタリスク (*) 付きのフィールド名は必須フィールドです。
 - “コメント”フィールドでは、“<” “>” “%” “~”が使用できません。
 - 変更内容を保存しないで破棄するには、[キャンセル]をクリックします。

5. [保存]をクリックします。


コメントの編集

1.  ドロップダウンメニューをクリックします。
2. [コメント]を選択します。
3. コメントを編集するには、コメントの  をクリックします。
4. “コメント”フィールドの中をクリックし、Delete キーで既存のコメントを削除してから新規のコメントを入力します。
 - アスタリスク (*) 付きのフィールド名は必須フィールドです。
 - “コメント”フィールドでは、“<” “>” “%” “~”が使用できません。
 - 変更内容を保存しないで破棄するには、[キャンセル]をクリックします。
5. [保存]をクリックします。


コメントの削除

1.  ドロップダウンメニューをクリックします。
2. [コメント]を選択します。
3. コメントを削除するには、 チェックボックスをクリックします。
4. “確定”ウィンドウが開いたら、削除の確認を行うため[Yes]をクリックします。



物理的ロケーションの追加・編集

1. サイドバーメニューで  “設定”をクリックします。
2. [1. 物理的場所（ロケーション）]が自動的に選択されます。
3. 物理的ロケーションの追加・編集手順は、設定手順と同様です。詳しくは、『物理的ロケーションの設定』を参照してください。



テストタイプの編集

1. サイドバーメニューで  “設定”をクリックします。
2. [2. テストの変数]を選択します。
3. 現在のテストタイプ名の情報が表示されます。
4. テストタイプ名やカスタムテストの追加・編集手順は、設定手順と同様です。詳しくは、『試験変数の設定』を参照してください。


カスタムテストの編集

1. サイドバーメニューで  “設定” をクリックします。
2. [2. テストの変数] を選択します。
3. カスタムテストを表示させるには、“カスタムテストを追加”の  をクリックします。
4. 現在のカスタムテスト情報が表示されます。カスタムテストの追加・編集手順は、設定手順と同様です。詳しくは、『試験変数の設定』を参照してください。


テストパラメーターの編集

1. サイドバーメニューで  “設定” をクリックします。
2. [2. テストの変数を選択] を選択します。
3. テストパラメーターを表示させるには、“テストパラメーターを追加”の  “Expand” をクリックします。
4. 現在のテストパラメーター情報が表示されます。テストパラメーターの追加・編集手順は、設定手順と同様です。詳しくは、『テストパラメーターの設定』を参照してください。



デフォルト合格・不合格レベルの追加・編集


1. サイドバーメニューで  “設定” をクリックします。
2. [3. 既定値] を選択します。
3. 現在のデフォルト値情報が表示されます。
4. デフォルト値の追加・編集手順は、設定手順と同様です。詳しくは、『デフォルト値の設定』を参照してください。

役割の編集




1. サイドバーメニューで  “設定” をクリックします。
2. [5. 役割] を選択します。
3. 現在の役割情報が表示されます。
4. 役割の編集手順は、設定手順と同様です。詳しくは、『役割の設定』を参照してください。

ユーザーの編集






1. サイドバーメニューで  “プランの管理” をクリックします。
2. コモンタスクメニューで  “ユーザーを追加編集” をクリックします。

- ユーザーの情報を表示させるには、ユーザーのをクリックします。
- 3. ユーザーの情報を編集するには、ユーザーの名前をクリックします。
- 4. “ユーザーを更新”画面にユーザーの情報が表示されます。編集するフィールドの中をクリックして新しい情報を入力します。
 - ユーザーをアクティブでなくするには、“ステータス”ドロップダウンメニューで“インアクティブ”を選択します。アクティブでないユーザーはログインできません。必要ならば、このユーザーのステータスは“アクティブ”に戻せます。
 - ユーザーをロックするには、“ステータス”ドロップダウンメニューで“ロックされました”を選択します。ロックされたユーザーはログインできません。このユーザーのステータスは“アクティブ”に戻せません。
 - ログイン名と E メールアドレスは編集できません。
 - PIN コードは、ユーザーがクライアントレース™ ATP 測定機器ルミノメーターへのログインに使用する 4 桁のパスワードです。パスワードを自動的に“temp123”にリセットするには、[パスワードをリセット]をクリックします。
 - 変更内容を保存しないで破棄するには、[キャンセル]をクリックします。
- 5. [保存]をクリックします。

ユーザーの追加

1. サイドバーメニューで“プランの管理”をクリックします。
2. “ユーザーを追加編集”をクリックします。
3. “ユーザーを追加”をクリックします。
4. ユーザーの追加手順は、設定手順と同様です。詳しくは、『ユーザーの設定』を参照してください。






試験結果の追加



1. サイドバーメニューで“レポート”をクリックします。
2. “テスト結果を追加/編集”をクリックします。
3. “結果を追加”をクリックします。
 - “結果の日付と時刻”フィールドの中をクリックし、試験を実施した日時を入力します。デフォルトは現在の日時になっています。あるいは、“Calendar”をクリックして再試験の日付を選択し、“Time”をクリックして時刻を選択します。
 - サンプルプランを選択するには、“サンプルプランの名称”ドロップダウンメニューを使用します。

- テストポイントを選択するには、“テストポイント名”ドロップダウンメニューを使用します。
- テストタイプを選択するには、“検査の種類”ドロップダウンメニューを使用します。
- “結果の値”フィールドの中をクリックして RLU 試験結果を入力します。“結果”フィールド（合格/注意/不合格）は、現在の合格/注意/不合格レベルに基づいて自動的に計算されます。試験実施時に合格/注意/不合格レベルが異なっていた場合、異なる結果を選択するには、“結果”フィールドのドロップダウンメニューを使用します。
- カスタムのパラメーターを使用する場合は、ドロップダウンメニューで値を選択します。
- “追加の理由”フィールドの中をクリックし、結果をルミノメーターから転送せずに手入力で追加する理由を入力します。これは必須フィールドです。
- コメントを入力するには、“結果のコメント”フィールドの中をクリックして入力します。
- 変更内容を保存しないで破棄するには、[キャンセル]をクリックします。





4. [保存]をクリックします。

再試験結果を手入力で追加する



1. サイドバーメニューで  “レポート”をクリックします。
2.  “テスト結果を追加/編集”をクリックします。
3. 再試験結果を追加する試験結果を検索します。以下の検索用フィールドを任意に組み合わせて検索してください。
 - 日付で検索するには、 “開始日”をクリックして表示対象期間の開始日を選択し、 “現在まで”をクリックして表示対象期間の終了日を選択します。
 - サンプルプランで検索するには、“サンプルプラン”ドロップダウンメニューでサンプルプランを選択します。
 - テストタイプで検索するには、“検査の種類”ドロップダウンメニューでテストタイプを選択します。
 - ユーザーで検索するには、“検査員”ドロップダウンメニューで試験担当者を選択します。
4. [検索]をクリックします。
5. 検索条件に一致する試験結果が一覧表示されます。再試験結果を追加する試験結果の  “再検査の結果を追加”をクリックします。
6. “再検査の結果を追加”画面が開きます。“結果の日付と時刻”フィールドの中をクリックして再試験の日時を入力します。

- あるいは、“Calendar”をクリックして再試験の日付を選択し、“Time”をクリックして時刻を選択します。
7. “結果の値”フィールドの中をクリックして RLU 試験結果を入力します。“結果”フィールド（合格/注意/不合格）は、現在の合格/注意/不合格レベルに基づいて自動的に計算されます。試験実施時に合格/注意/不合格レベルが異なっていた場合、異なる結果を選択するには、“結果”フィールドのドロップダウンメニューを使用します。
 - 変更内容を保存しないで破棄するには、[キャンセル]をクリックします。
 8. [保存]をクリックします。

試験結果の編集

1. サイドバーメニューで  “レポート”をクリックします。
2. コモンタスクメニューで  “テスト結果を追加/編集”をクリックします。
3. 編集する試験結果を検索します。以下の検索用フィールドを任意に組み合わせて検索してください。
 - 日付で検索するには、 “開始日”をクリックして表示対象期間の開始日を選択し、 “現在まで”をクリックして表示対象期間の終了日を選択します。
 - サンプルプランで検索するには、“サンプルプラン”ドロップダウンメニューでサンプルプランを選択します。
 - テストタイプで検索するには、“検査の種類”ドロップダウンメニューでテストタイプを選択します。
 - ユーザーで検索するには、“検査員”ドロップダウンメニューで試験担当者を選択します。
4. [検索]をクリックします。
 - 検索条件に一致する試験結果が一覧表示されます。編集する試験結果のテストポイント名または試験実施日をクリックします。
 - 編集するフィールドの中をクリックして新しい情報を入力します。
 - “変更の理由”フィールドの中をクリックして結果を編集する理由を入力します。
 - 変更内容を保存しないで破棄するには、[キャンセル]をクリックします。
5. [保存]をクリックします。

テストポイントの追加

1. サイドバーメニューで  “プランの管理”をクリックします。
2.  “テストポイントを追加/編集”をクリックします。

3. 既存のテストポイントが一覧表示されます。
 - テストポイントの情報を表示させるには、テストポイントの①をクリックします。
 - テストポイント名が作成済みかどうか確認するには、“テストポイント”フィールドの中をクリックしてテストポイント名を入力します。テストポイント名が作成済みならば表示されます。何も表示されない場合は未作成です。
4. テストポイントを追加するには、➕“テストポイント（複数）を作成”をクリックします。
5. テストポイントの追加手順は、設定手順と同様です。詳しくは、『テストポイントの設定』を参照してください。

テストポイントの編集



1. サイドバーメニューで■“プランの管理”をクリックします。
2. ■“テストポイントを追加/編集”をクリックします。
3. 既存のテストポイント名が一覧表示されます。
 - テストポイントの情報を表示させるには、テストポイントの①をクリックします。
4. テストポイントを編集するには、テストポイント名をクリックします。
 - “テストポイントの編集”画面が開きます。編集するフィールドの中をクリックして新しい情報を入力します。
 - 合格レベルまたは不合格レベルを編集するには、[合格/不合格の基準の変更]チェックボックスをクリックします。
 - 合格レベルを編集するには、新しい合格レベルの左側のスライダーをクリック&ドラッグするか、左側のフィールドの中をクリックして新しい合格レベルを入力します。
 - 不合格レベルを編集するには、新しい不合格レベルの右側のスライダーをクリック&ドラッグするか、右側のフィールドの中をクリックして新しい不合格レベルを入力します。
 - 1,000 超の合格・不合格レベルを設定するには、フィールドの中をクリックして数値を入力します。
- テストパラメーターを使用する場合は、ドロップダウンメニューで各テストパラメーター用の既定値を選択します。
 - アスタリスク (*) 付きのフィールド名は必須フィールドです。
 - “名前”フィールドと“説明”フィールドでは、“<” “>” “%” “~”が使用できません。
- クリーントレース™ ATP 測定機器ルミノメーターの画面に表示されるテストポイントの画像を追加・編集するには、[ファイルを選択]をクリックしてテストポイントのデジタル画像ファイルを選択します。画像の画面表示は、ルミノメーター側の画面表示と同様

に行われます。





- 変更内容を保存しないで破棄するには、[キャンセル]をクリックします。

5. [保存]をクリックします。

テストポイントの削除

- 試験結果をデータベースに保存していない場合は、テストポイントを削除することができません。
1. サイドバーメニューで  “プランの管理”をクリックします。
 2.  “テストポイントを追加/編集”をクリックします。
 3. 既存のテストポイント名が一覧表示されます。
 4. 削除するテストポイントの チェックボックスをクリックします。
 - 複数テストポイントの一括削除も行えます。
 5. “確認”ウィンドウが開いたら、削除の確認を行うため[Yes]をクリックします。

テストポイントロケーションの編集

1. サイドバーメニューで  “プランの管理”をクリックします。
2.  “テストポイントを追加/編集”をクリックします。
3. 既存のテストポイントが一覧表示されます。
 - テストポイントの情報を表示させるには、テストポイントの  をクリックします。
4. テストポイントのロケーション情報を編集するには、テストポイントの  “場所（ロケーション）の編集”をクリックします。
5. “テストポイントの編集”画面が開きます。“場所（ロケーション）の管理”ボックスで新しいロケーションのチェックボックスをクリックします。以前のロケーションをアクティブでなくするには、そのチェックボックスをクリックします。保存をクリックすると、“確認”ウィンドウが開いて確認を求めてきます。確定するには[はい]をクリックし、他のロケーションを選択するには[いいえ]をクリックします。
 - 変更内容を保存しないで破棄するには、[キャンセル]をクリックします。
6. [保存]をクリックします。

“Data Migration”機能で追加データをインポートする

1. サイドバーメニューで  “Home”をクリックします。

2. 共通のタスクメニューで■“サンプルプランを編集”をクリックします。
3. 📁“データのインポート”をクリックします。
4. “Data Migration”機能による追加データのインポート手順は、データのインポート手順と同様です。詳しくは、『“Data Migration”機能でデータをインポートする』を参照してください。
5. “Data Migration”機能による追加データのインポートでは、システム上にすでにあるものと重複しているテストポイント、サンプルプラン、ロケーション、テストパラメーター、テストタイプは無視されます。

ルミノメーター詳細情報の確認

1. ⓘ~ドロップダウンメニューをクリックします。
2. [ルミノメーターの詳細]を選択します。
3. “ルミノメーターの情報”画面にすべてのルミノメーターが一覧表示されます。ここで、シリアル番号、前回の同期化、較正日、モード（USB/Bluetooth/WiFi）などが確認できます。
4. 特定のルミノメーターについて追加情報を表示させるには、ⓘをクリックします。ここで、ルミノメーターの名前、ビルドバージョン、ファームウェアバージョン、MAC ID、ハードウェアバージョン、OS バージョンなどが確認できます。

組織構成の編集

1. ⓘ~ドロップダウンメニューをクリックします。
2. [組織の設定]を選択します。
3. “組織の構成”画面での情報の追加・編集手順は、設定手順と同様です。詳しくは、『組織構成の設定』を参照してください。

Dashboard の使用方法

Dashboard には、クリーントレース™ ATP 測定機器ルミノメーターから転送された試験結果の最新要約情報が表示されます。



- クリーントレース™ 衛生管理ソフトウェアにログインすると、自動的に Dashboard が開きます。
- このほかにも、サイドバーメニューの🏠 “Home”をクリックして何時でも開くことができます。
- Dashboard 要約情報の対象期間を選択するには：
 - 経過日数（時間数）のオプションをどれかクリックします：
 - [24 時間] [7 Days] [30 日] [60 日]
 - あるいは、🏠 “開始日”をクリックして開始日を選択し、🏠 “終了日”をクリックして終了日を選択します。
- Dashboard 要約情報のテストタイプを選択するには、[ATP] [VI] [OTHERS]のどれかをクリックします。選択を解除するには、もう一度クリックします。選択されたテストタイプは白いフォントで表示され、選択解除されたテストタイプはグレーのフォントで表示されます。

[ATP]	[目]	[その他]
クリーントレース™ ATP 測定用試薬 UXL100 クリーントレース™ 水中ATP 測定用試薬 AQT200 クリーントレース™ Water-Free ATP	クリーントレース™ 試薬とク リーントレース™ ルミノメーター を使わずに行うテストポイント の目視検査	『試験変数の設定』に従っ て設定する他のテストタイ プ




- Dashboard の各タイル内の数値は、以下のカテゴリーの試験結果件数を示します。

A テストされたポイント	B 合格 x%	C 注意 y%	D 不合格 z%
A = 試験結果総数 A = B + C + D	B = 試験結果合格件数と 全体に対する割合 初回試験のみで再試験を 含まず	C = 試験結果注意件数と 全体に対する割合 初回試験のみで再試験を 含まず	D = 試験結果不合格件数 と全体に対する割合 初回試験のみで再試験を 含まず

Dashboard タイルの下に表示される情報：

ステータスレポート	グラフ	スケジュールの日付
Dashboard 表示に含まれる サンプルプランのリスト	各サンプルプランの合格結果件数、注 意結果件数、不合格結果件数を示すチ ャート	サンプルプランの次回の実施予定日

- 単一カテゴリーの試験結果要約情報を表示させるには、当該カテゴリーのタイルをクリックします。
- サンプルプラン名またはテストポイント名が長すぎて全体が見えない場合は、そこにカーソルを重ねると全体が表示されます。
- サンプルプラン内のテストポイントを一覧表示させるには、サンプルプラン名の ▶ “Expand” をクリックします。


- 選択した対象期間内のテストポイント試験結果を含むトレンドチャートを表示させるには、テストポイント名の“Chart”をクリックします。
- トレンドチャートの対象期間を変更するには、“開始日”フィールドまたは“Calendar”および“終了日:”フィールドまたは“Calendar”を使用します。

Dashboard タイルの右側に表示される情報：

ウォッチリスト	不合格の割合が最も高かったテストポイントのリスト。“Watch List”のレポートを作成するには、リスト内のタイルをどれかクリックします。
検査員	試験担当者のリスト。合格結果件数、注意結果件数、不合格結果件数をユーザー別に表示します。他のユーザーを表示させるには、縦のスクロールバーを使用します。

レポートの閲覧・印刷

標準レポートの閲覧






1. サイドバーメニューで  “レポート”をクリックします。
2. 通常、レポートに含まれる試験結果項目は、Dashboard で直前に設定された「対象期間」「テストタイプ」「サンプルプラン」の3項目です。詳しくは、『Dashboard の使用方法』を参照してください。
 - レポートに含める試験結果項目を変更するには、“Report Options”を使用します。

▶テストの場所	▶をクリックしてロケーション名を一覧表示させ、そこからテストポイントのロケーションを選択します。
検査員	ドロップダウンメニューで試験担当者を選択します。
変数	ドロップダウンメニューで変数を選択します。
結果	ドロップダウンメニューで“合格” “注意” “不合格” “オール”のどれかを選択します。
結果の範囲	左側のフィールドの中をクリックして試験結果の最小値、右側のフィールドの中をクリックして試験結果の最大値を入力します。
再検査を含む	再試験を含めるには、[再検査を含む]チェックボックスをクリックします。



- [適用]をクリックして“レポートオプション”の設定を適用します。
- レポート形式を選択するには、対応するタブをクリックします。

結果	MSS	トレンド	ランキング	お気に入り
試験結果のリスト：テストタイプ、試験日時、RLU 値、合格/注意/不合格、コメント	衛生管理計画のチャート：X 軸に日付、Y 軸にテストポイント、各セルに試験結果を表示	試験結果の時系列グラフ（再試験を含む）	不合格率でランキングしたテストポイントのリスト（最近の試験結果のグラフとトレンドインジケータを含む）	“Define New Report”機能で作成するレポート『フェイバリットレポートの閲覧』を参照

3. レポートが画面に表示されます。
 - 各レポートの“レポート情報”エリアには、レポート作成時の基本情報として「部門」「サンプルプラン」「日付」「作成」が表示されます。
 - 各レポート形式で表示される情報の意味については、『レポートの例』を参照してください。
 - トレンドレポートやランキングレポート上のグラフの画像ファイルを作成するには、グラフを右クリックして“Save picture as...”を選択し、“Save Picture”機能で画像ファイルを保存します。画像ファイルはドキュメントやプレゼンテーションに挿入できます。


- レポートを印刷するには、“プリンターに送信”をクリックします。レポートが PDF 形式で開き、自動的に“印刷”コマンドが選択されます。この PDF を開いたアプリケーションでレポートを PDF 形式で保存します。
- レポートを一時的に保存するには、“保存”をクリックします。“レポート履歴”には、新しく保存したものから順に 5 つのレポートが☆（白色）付きで表示されます。
- レポートをフェイバリットとして正式に保存するには、☆をクリックします。“レポートの履歴”には、フェイバリットレポートが★（金色）付きで表示されます。
- 一時保存レポートとフェイバリットレポートのどちらにも、“レポート名_番号”形式の名前が付きます。例えば、初回の試験結果レポートはどちらも“レポートの履歴”に“結果_1”のように表示されます。
- 一時保存またはフェイバリットレポートの名前を変更するには、“レポートの履歴”でレポート名をクリックします。“レポート名”フィールドの中をクリックして別名を入力し、“保存”をクリックします。
- 一時保存またはフェイバリットレポートを再作成するには、“レポートの履歴”でレポート名をクリックします。対象期間や“レポートオプション”の項目を変更する手順は、初回の作成時と同様です。
 - レポートを E メールで送信するには、“Email”をクリックします。E メールは PDF 版のレポートが添付された状態でお手元のデフォルトの受信トレイに送信されます。この E メールを転送することで、レポートを受取人に配信することができます。
- レポート用の生データをスプレッドシートにエクスポートするには、“データのダウンロード”をクリックします。生データを含むスプレッドシートを開くには、[Open]をクリックします。

フェイバリットレポートの閲覧

1. サイドバーメニューで  “レポート”をクリックします。
2. “レポート”画面で“お気に入り”タブをクリックします。
3. 内容を確認したいフェイバリットレポートの名前をクリックします。
4. フェイバリットレポートの名前を変更するには、“お気に入り”でレポート名をクリックします。“レポート名”フィールドの中をクリックして別名を入力し、 “保存”をクリックします。
5. 対象期間や“レポートオプション”の項目を変更する手順は、初回の作成時と同様です。


レポート自動作成の設定

1. サイドバーメニューで  “レポート”をクリックします。


2. レポートの内容を確認します。詳しくは、『標準レポートの閲覧』を参照してください。
3. “レポート”ツールバーで“レポートの自動スケジューリング”をクリックします。
 - “毎日”チェックボックスをクリックします。“Time”フィールドの中をクリックして時刻を入力します。
 - あるいは、“毎週”チェックボックスをクリックして曜日をクリックします。“Time”フィールドの中をクリックして時刻を入力します。
 - あるいは、“毎月”チェックボックスをクリックします。フィールドの中をクリックして日付を入力します。“Time”フィールドの中をクリックして時刻を入力します。
 - 変更内容を保存しないで破棄するには、[キャンセル]をクリックします。
 - [保存]をクリックします。
 - レポートは PDF 形式で次の場所に保存されます：
Clean-Trace Hygiene Management¥Downloads

管理項目

クライアントシステム管理者への連絡

1.  “Contact Us” ドロップダウンメニューをクリックします。
2. [クライアント管理者に連絡]をクリックします。ソフトウェアをインストールした人の氏名、Eメールアドレス、組織が表示されます。








Neogen テクニカルサポートへの連絡

1.  “Contact Us” ドロップダウンメニューをクリックします。
2. [Technical Support]をクリックすると Neogen グローバルテクニカルサポートの連絡先情報（電話番号等）が表示されます。日本語のサポートが必要な場合にはウェブサイト neogen.jp よりお問い合わせください。



データベースから試験結果をアーカイブする

利用機会が少ない以前の試験結果を独立したデータベースに移すには、“Archive”機能を使用します。こうすることで、メインデータベース上の新しい試験結果を素早くアクセスできるようになります。

- このようにしてアーカイブした試験結果を Dashboard での表示やレポート作成のためにアクセスするには、Dashboard の機能とレポート関連機能で試験結果の開始日と終了日を選択します。

1.  ドロップダウンメニューをクリックします。
2. [データベースの管理]を選択します。
 - “開始日”フィールドの中をクリックして開始日時を入力します。
 - あるいは、 “Calendar”をクリックしてカレンダー表示で開始日を選択し、 “Time”をクリックして開始時刻を選択します。
 - “終了日”フィールドの中をクリックして終了日時を入力します。
 - あるいは、 “Calendar”をクリックしてカレンダー表示で終了日を選択し、 “Time”をクリックして終了時刻を選択します。
 - “サンプルプラン”ドロップダウンメニューをクリックしてアーカイブするサンプルプランを選択します。
 - あるいは、 “Calendar”をクリックしてカレンダー表示で開始日を選択し、 “Time”をクリックして開始時刻を選択します。
 - “スケジュール日”フィールドの中をクリックして自動アーカイブの開始日時を入力し


ます。

○ あるいは、“Calendar”をクリックしてカレンダー表示で開始日を選択し、“Time”をクリックして開始時刻を選択します。


- 変更内容を保存しないで破棄するには、[キャンセル]をクリックします。

3. [保存]をクリックします。

監査ログの表示

1. ~ドロップダウンメニューをクリックします。


2. [ログ]をクリックします。

- 監査ログをソートするには、カラム見出しをクリックします。例えば、日時でソートする場合は、[日付と時刻]をクリックします。
- 監査ログの詳細情報を表示させるには、監査ログの  をクリックします。

データベースのバックアップ

1. バックアップを行う前に、バックアップファイル用のフォルダーを作成します。Windows Explorer で“Clean-Trace Hygiene Management¥Backup”を作成してください。

2. SQL Server Management Studio を起動します。

a.  [スタート]をクリックします。

b. [すべてのプログラム] → [Microsoft SQL Server 2012] → [SQL Server Management Studio]の順に選択します。

c. コンピューターに SQL Server Management Studio がインストールされていない場合は、Microsoft のダウンロードセンターからダウンロードしてインストールします。



<https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=29062>

3. “Connect to Server”ウィンドウの“Server Name”に“Wxxxxxxx:SPARK”が表示されていることを確認します。この“Wxxxxxxx:SPARK”はコンピューターの名前です。これは Windows の[スタート]ボタン → [コンピューター] → [システムのプロパティ]で表示されます。




“Server Name”の表示が正しければ、[Connect]をクリックします。

4.   “Databases”を選択してデータベースを拡張します。

5.   “Spark”を右クリックします。

6. [Tasks] → [Backup...]の順に選択します。

7. バックアップ先の場所でデフォルトのバックアップ先をクリックして[Remove]をクリックします。

8. [Add...]をクリックして  “Browse”をクリックし、“Clean-Trace Hygiene Management Backup”まで移動します。
9. “File Name:”フィールドの中をクリックしてバックアップファイルの名前を入力します。例えば、2016年4月1日にバックアップを行った場合は、ファイル名を“Backup_2016_04_01.bak”のようにします。
10. ファイル名とパスを保存するには、[OK]をクリックします。バックアップ先を保存するには、[OK]をクリックします。バックアップをスタートするには、[OK]をクリックします。
11. “Completed Successfully”というメッセージが表示されたら、[OK]をクリックしてバックアップを完了します。





バックアップからデータベースをリストアする



Microsoft® SQL Server® Management Studio (SSMS) を開き、“Restore Database”機能で“.BAK”バックアップファイルをクリーントレース™ 衛生管理ソフトウェアのデータベースにリストアします。

1. SQL Server Management Studio を起動します。
 - a.  [スタート]をクリックします。
 - b. [すべてのプログラム] → [Microsoft SQL Server 2012] → [SQL Server Management Studio]の順に選択します。
 - c. コンピューターに SQL Server Management Studio がインストールされていない場合は、Microsoft のダウンロードセンターからダウンロードしてインストールします。
<https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=29062>
2. “Connect to Server”ウィンドウの“Server Name”に“Wxxxxxxx:SPARK”が表示されていることを確認します。この“Wxxxxxxx:SPARK”はコンピューターの名前です。これは Windows の[スタート]ボタン → [コンピューター] → [システムのプロパティ]で表示されます。




“Server Name”の表示が正しければ、[Connect]をクリックします。

3.   “Databases”を選択してデータベースを拡張します。
4.   “Spark”を右クリックします。

5. [Tasks] → [Restore] → [Database...]の順に選択します。
6. [Device]チェックボックスをクリックし、 “Browse”をクリックして[Add...]をクリックし、“Clean-Trace Hygiene Management Backup”まで移動します。
7. データベースリストア用のバックアップファイルの名前をクリックして[OK]をクリックします。
8. もう一度、データベースリストア用のバックアップファイルの名前をクリックして[OK]をクリックします。
9. 進捗状況が “Done”になったら、[OK]をクリックしてデータベースのリストアを完了します。

ソフトウェアのアンインストール

クリーントレース™ 衛生管理ソフトウェアをアンインストールするには、Windows の[コントロール パネル]を使用します。

1. Windows の [スタート]をクリックして[コントロール パネル]をクリックします。
2. [プログラムと機能]をクリックします。
3. “Clean-Trace Hygiene Management Software”をクリックします。
4. ソフトウェアをアンインストールするには[アンインストール]をクリックし、アンインストールを中止するには[キャンセル]をクリックします。

エラーログファイルの閲覧

- ソフトウェアエラーが発生すると、エラーの発生日が名前になったフォルダーの中に “SparkService” というエラーログファイルが作成されます。以下にフォルダーの例を示します。
 - Clean-Trace Hygiene Management¥Logs¥Neogen¥DD.MM.YYYY
 - Clean-Trace Hygiene Management¥Logs¥自分の組織名¥DD.MM.YYYY
- エラーログファイルを見るには、Microsoft® Notepad®を使用します。

ファームウェアのアップグレード

ルミノメーターのアプリケーション、ファームウェア、OMC のアップグレードは、Neogen の担当者からご連絡した場合のみ行ってください。アップグレードが必要な場合は、Neogen の担当者からご連絡のうえ、メディアをご提供いたします。

トラブルシューティング

クリーントレース™ 衛生管理ソフトウェアのインストール

問題	エラーコード	対策
PC にインストールされている OS のバージョンが古い	0x84BE0001	Windows 7 PC/Windows 8 PC にソフトウェアをインストールしてください。
SQL Server のセットアップを実行するアカウントに Administrator の権限がない	0x84BE0007	ソフトウェアをインストールするユーザーは、Windows Administrator である必要があります。
再起動の保留が要求される。再起動の保留によってセットアップが失敗する	0x84BE0BC2	ソフトウェアをインストールする前に、PC を再起動してください。
WMI サービスがスタートしていない	0x84BE0003	Neogen または最寄りの代理店までご連絡ください。
SQL Server のレジストリーキーが一致しない	0x84BE01FF	Neogen または最寄りの代理店までご連絡ください。
SQL Server のインストールメディアが長すぎる	0x84BE0009	Neogen または最寄りの代理店までご連絡ください。
フュージョン ATL が壊れているため PC の再起動が要求される。再起動の保留によってセットアップが失敗する	0x84BE0BC2	ソフトウェアをインストールする前に、PC を再起動してください。
SQL Server 7.0 または SQL Server 7.0 OLAP Services がインストールされている。SQL Server 7.0 が SQL Server 2012 に対応していない	0x84BE020D	SQL Server 7.0 を PC からアンインストールするか、SQL Server 7.0 がない PC にソフトウェアをインストールしてください。
PC がドメインコントローラーになっている。SQL Server 2012 はドメインコントローラーにインストールしない方がよい	0x84BE0201	ドメインコントローラーでない PC にソフトウェアをインストールしてください。
OS が SQL Server のセットアップに対応していない	0x84BE0213	Windows 7 PC/Windows 8 PC にソフトウェアをインストールしてください。
SQL Server のサービスが無効になっている	0x84BE07D1	Microsoft® SQL Server® Management Studio で有効にしてください。
指定したドライブが FAT32 ファイルシステムのボリュームになっている。FAT32 ファイルシステムは NTFS ほど安全ではないので、FAT32 へのインストールはなるべく避ける	0x84BE0249	ソフトウェアを NTFS ドライブにインストールしてください。
PC の再起動が要求される。再起動の保留によってセットアップが失敗する	0xBC2 0x8XXX0BC2 (終了コードが“BC2”で終わる場合)	ソフトウェアをインストールする前に、PC を再起動してください。

.NET が要求される	0x84C408	Microsoft.NET 4.0 をインストールしてください。 このソフトウェアは Microsoft のダウンロードセンターからダウンロードできます。
Microsoft Windows Installer 4.5 が要求される	0x84C40010	Microsoft.NET 4.0 をインストールしてください。 このソフトウェアは Microsoft のダウンロードセンターからダウンロードできます。
メッセージ“SQL Server could not be installed. Please refer to %programfiles%\Microsoft SQL Server\110\Setup Bootstrap\Log\<YYYYMMDD_HHMM>\SystemConfigurationCheck_Report.html file for further information.”が表示される	他の終了コード	エラーメッセージに表示されたファイルを Microsoft Notepad で開いて詳しい原因を確認してください。 ウイルス対策 SW の設定を確認し、SQL Server インストールウィザードによるファイル展開を可能にしてください。 すでに SQL Server 2012 がある場合は、クリーントレース™ 衛生管理ソフトウェアのインストール時に必ず[Use Existing Database]を選択してください。

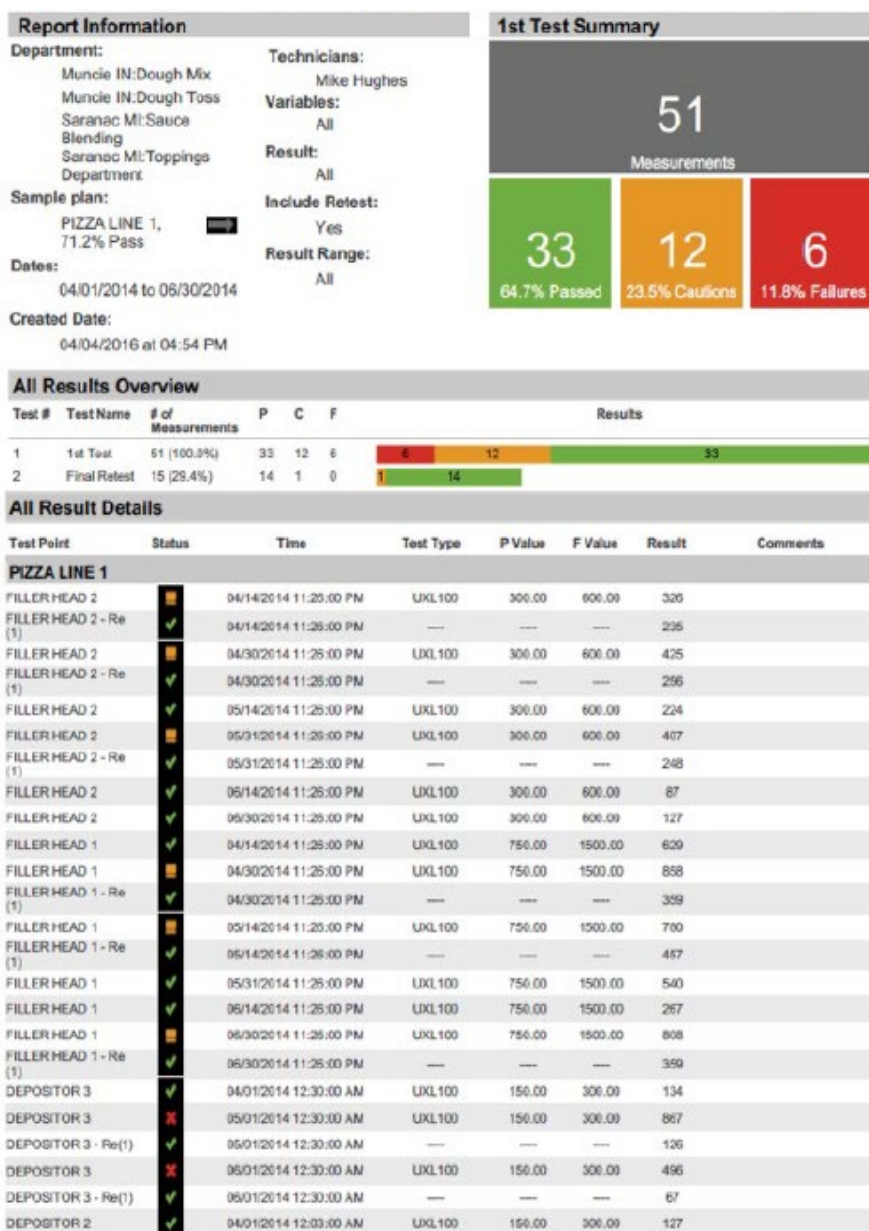
付録

レポートの例

各レポートの“Report Information”エリアに表示されるトレンドインジケータ（矢印）は、以下のようにして計算されます。

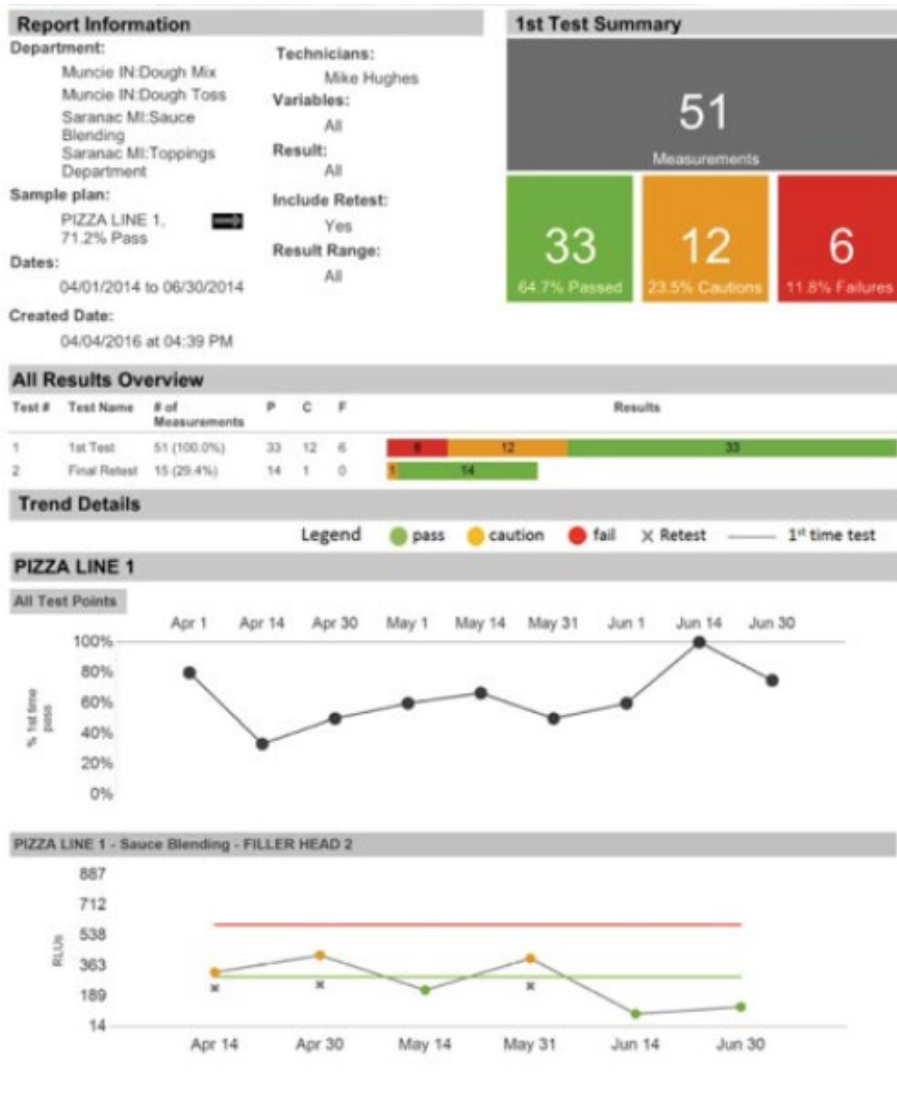
1. 各々の時間間隔について、試験結果が合格になる割合を計算。
2. すべての時間間隔について、試験結果が合格になる割合を時系列で配列。
3. 回帰分析で適合線プロットの傾きを判定。
 - 適合線プロットの傾きが正ならば、試験結果の合格割合は増加傾向にあります（↑）。
 - 適合線プロットの傾きが負ならば、試験結果の合格割合は減少傾向にあります（↓）。
 - 適合線プロットの傾きがゼロならば、試験結果の合格割合に傾向はありません（→）。

試験結果レポート



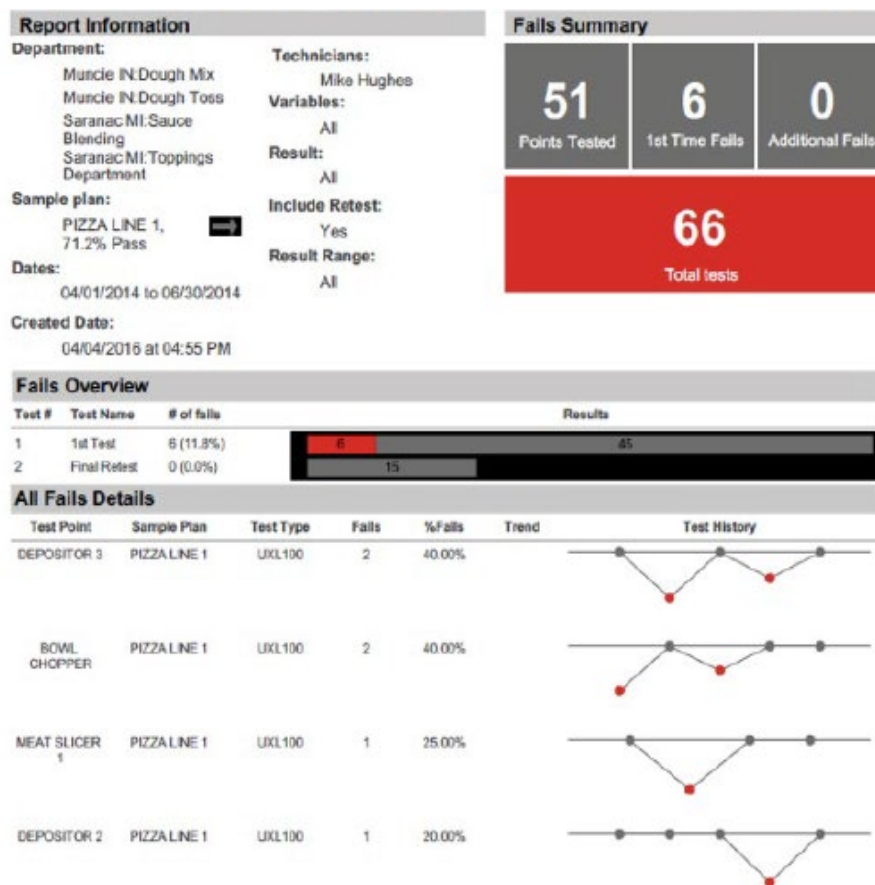
レポート情報	意味
→	この例には合格割合の傾向がありません。
1 回目の検査のサマリ	これらのタイルは Dashboard にあるものと共通です。詳しくは、『Dashboard の使用方法』を参照してください。
すべての結果の概要	“1st Test”は初回試験結果を表し、“Final Retest”は最終試験結果を表します。
すべての結果の詳細	再試験を実施した場合は、初回試験の直後に表示されます。 試験結果のソートは、サンプルプランにおけるテストポイントの順序に従って行われます。

トレンドレポート



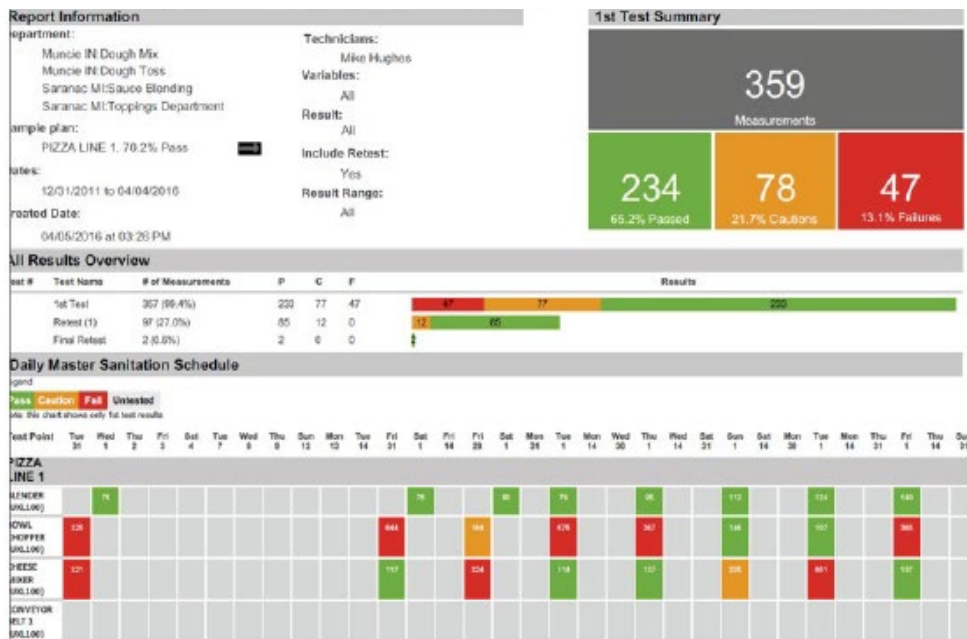
レポート情報	意味
→	この例には合格割合の傾向がありません。
1 回目の検査のサマリ	これらのタイルは Dashboard にあるものと共通です。詳しくは、『Dashboard の使用方法』を参照してください。
すべての結果の概要	“1st Test”は初回試験結果を表し、“Final Retest”は最終試験結果を表します。
トレンドの詳細	テストポイントグラフのソートは、サンプルプランにおけるテストポイントの順序に従って行われます。

ランキングレポート



レポート情報	意味
→	この例には不合格割合の傾向がありません。
不合格のサマリー	“Points Tested”は初回試験結果件数、“1st Time Fails”は初回試験結果不合格件数、“Additional Fails”は再試験結果不合格件数、“Total Tests”は初回試験と再試験の合計数を表します。
不合格の概要	“1st Test”は初回試験結果を表し、“Final Retest”は最終試験結果を表します。
すべての不合格の詳細	テストポイントグラフでは、赤いデータポイントが不合格を表し、黒いデータポイントが実際には不合格レベル（横線）に達しない合格または注意を表します。データポイントは左から右へ時系列で並んでいます。赤いデータポイントが横線から離れるほど、RLU 値が大きくなります。

MSS (衛生管理計画) レポート



レポート情報	意味
→	この例には合格割合の傾向がありません。
1回目の検査のサマリー	これらのタイルは Dashboard にあるものと共通です。詳しくは、『Dashboard の使用方法』を参照してください。
結果の概要	“1st Test”は初回試験結果を表し、“Final Retest”は最終試験結果を表します。
日次マスター衛生スケジュール	このレポートは横長で印刷され、テストポイントはアルファベット順にソートされます。

“Data Migration”機能対象スプレッドシートファイル形式（テストポイント）

“Data Migration”機能でテストポイント情報をインポートする手順については、『“Data Migration”機能でデータをインポートする』を参照してください。

スプレッドシート（.xls/.xlsx）ファイル形式：

- 各行はテストポイントの設定内容です。
- 各列はフィールドの名前です。
- カラム見出しは必須です。
- カラムの順序は任意です。
- 必須でないカラムも使用できます。
- 一部のカラム内の情報は、システム設定時に設定したフィールド内の情報と一致することが必要です。例えば、“TP_Plant”カラム内の親ロケーション名は、『物理的ロケーションの設定』で設定したロケーションと一致することが必要です。
- 下表でアスタリスク(*)付きのフィールド名は必須です。文字数はすべて半角の文字数です。

フィールド名*	以下の例でのカラム名表示	形式	条件
テストポイント名*	TP_PC_NAME	文字	30文字以内。全フィールド空白は不可。無効文字（< > % ~）使用不可
ATPの合格閾値*	P_Value	数字	範囲：1～9,999,999
ATPの不合格の閾値*	F_Value	数字	範囲：1～9,999,999。ATP Pass Thresholdより大きいこと
サンプルプラン名	SP_PC_Name	文字	25文字以内。全フィールド空白は不可。既存サンプルプラン名と一致させること
上の階層（ロケーション）*	TP_Plant	文字	50文字以内。既存ロケーション名と一致させること
下の階層（ロケーション）*	TP_Department	文字	50文字以内。既存ロケーション名と一致させること
検査方法*	SwabType	文字	既存試験方法“ATP”と一致させること。全フィールド空白は不可。
パラメーター 1	Chemicals	文字	50文字以内。既存パラメーター名と一致させること
パラメーター 2	Tools	文字	50文字以内。既存パラメーター名と一致させること
パラメーター 3	CleaningMethods	文字	50文字以内。既存パラメーター名と一致させること
テストポイントId		数字	使用する場合、全フィールド空白は不可。文字使用不可。範囲：1～65,535
説明		文字	50文字以内

ステータス*	Flag	文字	アクティブなテストポイントに対して “TRUE”。アクティブでないテストポイントに 対して“FALSE”
サンプル発注	Sample Order	数字	

テストポイントのインポート先スプレッドシートファイルの例（クリーントレース™ データトレンディングソフトウェアより）：

1	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
	SP_PC_Name	TP_PC_NAME	TP_Department	TP_Plant	P_Value	F_Value	SwabType	Tools	Chemicals	CleaningMethods
2	PIZZA LINE 1	Dough Kneading 1	Dough Mix	Muncie IN	150	300 ATP		Powermatic 2000	Caustic Detergent	Manual Scrub
3	PIZZA LINE 1	SAUCE EXTRUDER 2	Toppings Department	Saranac MI	150	300 ATP		SuperPowermatic 2850	Caustic Detergent	CIP
4	PIZZA LINE 1	SAUCE EXTRUDER 1	Sauce Blending	Saranac MI	150	300 ATP		Powermatic 2000	Caustic Detergent	Manual Scrub
5	PIZZA LINE 1	PASTRY FORMER	Dough Toss	Muncie IN	150	300 ATP		Powermatic 2000	Caustic Detergent	CIP
6	PIZZA LINE 1	PASTRY CUTTER	Dough Toss	Muncie IN	150	300 ATP		Powermatic 2000	Caustic Detergent	Manual Scrub
7	PIZZA LINE 1	MOULDER	Dough Toss	Muncie IN	150	300 ATP		Powermatic 2000	Caustic Detergent	CIP
8	PIZZA LINE 1	MEAT SLICER 1	Toppings Department	Saranac MI	150	300 ATP		SuperPowermatic 2850	Acid Detergent	Manual Scrub
9	PIZZA LINE 1	FILLER HEAD 3	Sauce Blending	Saranac MI	80	160 ATP		Powermatic 2000	Acid Detergent	CIP
10	PIZZA LINE 1	FILLER HEAD 2	Sauce Blending	Saranac MI	275	550 ATP		Powermatic 2000	Acid Detergent	Manual Scrub

“Data Migration”機能対象スプレッドシートファイル形式（サンプルプラン）

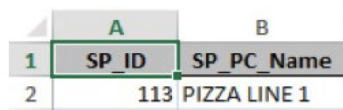
“Data Migration”機能でサンプルプラン情報をインポートする手順については、『“Data Migration”機能でデータをインポートする』を参照してください。

スプレッドシート（.xls/.xlsx）ファイル形式：

- 各行はサンプルプランの設定内容です。
- 各列はフィールドの名前です。
- カラム見出しは必須です。
- カラムの順序は任意です。
- 必須でないカラムも使用できます。
- 下表でアスタリスク(*)付きのフィールド名は必須です。文字数はすべて半角の文字数です。

フィールド名	以下の例でのカラム名表示	形式	条件
テストサンプル名*	SP_PC_NAME	文字	30文字以内。全フィールド空白は不可。 無効文字 (< > % ~) 使用不可。既存 サンプルプラン名と一致させること
サンプルプランの ID	SP_ID	数字	

サンプルプランのインポート先スプレッドシートファイルの例（クリーントレース™ データトレンディングソフトウェアより）：



	A	B
1	SP_ID	SP_PC_Name
2	113	PIZZA LINE 1

“Data Migration”機能対象スプレッドシートファイル形式（試験結果）

“Data Migration”機能で試験結果情報をインポートする手順については、『“Data Migration”機能で試験結果をインポートする』を参照してください。

スプレッドシート（.xls/.xlsx）ファイル形式：

- 各行は試験結果の設定内容です。
- 各列はフィールドの名前です。
- カラム見出しは必須です。
- カラムの順序は任意です。
- 必須でないカラムも使用できます。
- 一部のカラム内の情報は、システム設定時に設定したフィールド内の情報と一致することが必要です。例えば、“TP_Plant”カラム内の親ロケーション名は、『物理的ロケーションの設定』で設定したロケーションと一致することが必要です。
- 下表でアスタリスク(*)付きのフィールド名は必須です。文字数はすべて半角の文字数です。

フィールド名	以下の例でのカラム名表示	形式	条件
テストポイント名*	TP_PC_NAME	文字	30文字以内。全フィールド空白は不可。無効文字 (< > % ~) 使用不可
テストプラン名	SP_PC_Name	文字	25文字以内。全フィールド空白は不可。無効文字 (< > % ~) 使用不可。既存サンプルプラン名と一致させること
ATP の合格閾値*	P_Value	数字	範囲：1～9,999,999
ATP の不合格の閾値*	F_Value	数字	範囲：1～9,999,999。ATP Pass Threshold より大きいこと
検査方法*	SwabType	文字	既存試験方法“ATP”と一致させること。全フィールド空白は不可。
パラメーター 1	Chemicals	文字	50文字以内。既存パラメーター名と一致させること。全フィールド空白は不可
パラメーター 2	Tools	文字	50文字以内。既存パラメーター名と一致させること。全フィールド空白は不可
パラメーター 3	CleaningMethods	文字	50文字以内。既存パラメーター名と一致させること。全フィールド空白は不可
上の階層(ロケーション) *	TP_Plant	文字	50文字以内。既存ロケーション名および上下関係と一致させること。全フィールド空白は不可
下の階層(ロケーション) *	TP_Department	文字	50文字以内。既存ロケーション名および上下関係と一致させること。全フィールド空白は不可
結果*	Result Status	文字	Pass、Caution、Fail
結果の値*	Result	数字	RLU 試験結果

結果の日付*	DateTime Tested	日付	
再検査結果	Retest Status	文字	Pass、Caution、Fail
再検査結果の値	Retest	数字	RLU 試験結果
再検査結果の日付		文字	50 文字以内
結果のコメント	Comment Result	文字	
再検査のコメント	Comment Retest	文字	

試験結果のインポート先スプレッドシートファイルの例 (クリーントレース™ データトレンド
 イングソフトウェアより) :

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
1	DateTimeTested	P Value	F Value	Result	Result Status	Retest	Retest Status	Site	Plant	Sample Plan	Test Point	Department	Test Type	Chemicals	Cleaning Method	Tools
2	01-May-13	150	300	61	Pass			Pizza Manufac turing	Munc ie IN	PIZZA LINE 1	BLENDER	Dough Mix	ATP	Acid Detergent	CIP	Powermati c 2000
3	01-Jan-14	150	300	325	Fail	114	Pass	Pizza Manufac turing	Saran ac MI	PIZZA LINE 1	BOWL CHOPPER	Toppings Departm ent	ATP	Acid Detergent	Manual Scrub	Powermati c 2000
4	01-Feb-14	150	300	644	Fail	112	Pass	Pizza Manufac turing	Saran ac MI	PIZZA LINE 1	BOWL CHOPPER	Toppings Departm ent	ATP	Acid Detergent	Manual Scrub	Powermati c 2000
5	01-Mar-14	150	300	164	Caution			Pizza Manufac turing	Saran ac MI	PIZZA LINE 1	BOWL CHOPPER	Toppings Departm ent	ATP	Acid Detergent	Manual Scrub	Powermati c 2000
6	01-Apr-14	150	300	675	Fail	134	Pass	Pizza Manufac turing	Saran ac MI	PIZZA LINE 1	BOWL CHOPPER	Toppings Departm ent	ATP	Acid Detergent	Manual Scrub	Powermati c 2000
7	01-May-14	150	300	367	Fail	117	Pass	Pizza Manufac turing	Saran ac MI	PIZZA LINE 1	BOWL CHOPPER	Toppings Departm ent	ATP	Acid Detergent	Manual Scrub	Powermati c 2000
8	01-Jun-14	150	300	140	Pass			Pizza Manufac turing	Saran ac MI	PIZZA LINE 1	BOWL CHOPPER	Toppings Departm ent	ATP	Acid Detergent	Manual Scrub	Powermati c 2000
9	01-Jul-14	150	300	107	Pass			Pizza Manufac turing	Saran ac MI	PIZZA LINE 1	BOWL CHOPPER	Toppings Departm ent	ATP	Acid Detergent	Manual Scrub	Powermati c 2000
10	01-Aug-14	150	300	365	Fail	136	Pass	Pizza Manufac turing	Saran ac MI	PIZZA LINE 1	BOWL CHOPPER	Toppings Departm ent	ATP	Acid Detergent	Manual Scrub	Powermati c 2000
11	01-Sep-14	150	300	167	Caution			Pizza Manufac turing	Saran ac MI	PIZZA LINE 1	BOWL CHOPPER	Toppings Departm ent	ATP	Acid Detergent	Manual Scrub	Powermati c 2000
12	01-Oct-14	150	300	142	Pass			Pizza Manufac turing	Saran ac MI	PIZZA LINE 1	BOWL CHOPPER	Toppings Departm ent	ATP	Acid Detergent	Manual Scrub	Powermati c 2000

ライセンス契約書

お客様によるクリーントレース™ 衛生モニタリングシステムのご購入ならびにお客様のソフトウェアライセンスにつきましては、下記の条件が適用されます。

このエンドユーザーライセンス契約書（以下「本契約書」と言います）は、お客様（以下「お客様」または「ユーザー様」と言います）による本契約書に記載のソフトウェアのご利用について、お客様と Neogen 社（以下「Neogen」と言います）の間で行われる法的な取り決めです。お客様は、本契約書に表示される「同意します」ボタンをクリックすることおよび/またはソフトウェアをダウンロード、インストール、コピーあるいは使用することによって、本契約書により法的に拘束されることに同意するものとします。お客様が会社その他の法人を代表して本契約書を受諾される場合、お客様は当該法人を本契約書により法的に拘束する権限を保有することを表明および保証するものとします。この場合における「お客様」「お客様の」「ユーザー様」という用語は、当該法人を指し示すものとします。お客様が当該権限を保有しない場合、あるいは本契約書により拘束されることに同意されない場合は、「同意しません」ボタンをクリックしてください。これに伴い、お客様はソフトウェアのダウンロード、インストール、コピーあるいは使用が行えなくなるとともに、Neogen の営業担当者にご連絡のうえクリーントレース™ 衛生モニタリングシステムを返却し、払い戻しを受けることが可能になります。

1. ライセンス

ユーザー様から Neogen への購入代金のお支払に伴い、Neogen はユーザー様に対し、以下の各項に関する非排他的かつ譲渡不能な権利を付与いたします：(a) クリーントレース™ 衛生モニタリングシステムに含まれるクリーントレース™ 衛生モニタリングシステムソフトウェアプログラムオブジェクトコードを、クリーントレース™ 衛生モニタリングシステムの使用時に限り、ユーザー様の内部でユーザー様の業務に使用すること（このソフトウェアを、このソフトウェアに関連して Neogen がユーザー様に提供するユーザードキュメントならびに将来のバージョン、アップデート、エンハンスメントを含めて「本ソフトウェア」と言います）、(b)本契約書で許可されるユーザー様による本ソフトウェアの使用に必要な場合に限り、本ソフトウェアのバックアップコピーを 1 部作成すること、(c) ユーザー様の内部使用に限りユーザードキュメントのコピーを作成すること。ユーザー様は、本ソフトウェアおよびユーザードキュメントの他のコピーを作成しないことに同意するものとします。本契約書の如何なる規定も、ユーザー様に本ソフトウェア用のソースコードを入手または使用する権利を付与するものではありません。本契約書の目的において、クリーントレース™ 衛生モニタリングシステムは、クリーントレース™ ATP 測定機器ルミノメーター、クリーントレース™ 衛生管理ソフトウェアおよび Neogen が提供するその他のコンポーネントを含みます。これらについては、クリーントレース™ 衛生モニタリングシステムのユーザーマニュアル（以下「ユーザードキュメント」と言います）で説明されています。

2. 所有権

各当事者とも、本ソフトウェアが Neogen および/またはその実施許諾者の独占的所有物であることを認めるものとします。ユーザー様は、本ソフトウェアまたはユーザードキュメントに記載された著作権、所有権、その他の注意書きを、ユーザー様が作成する本ソフトウェアまたはユーザードキュメントのコピーに複写することに同意するものとします。

3. 使用の制限

ユーザー様は、本ソフトウェアのリース、サブライセンス、販売、デコンパイル、ディスアセンブル、改変、リバースエンジニアリングおよび転送ならびに他言語への翻訳を行わないことに同意するものとします。ユーザー様は、本ソフトウェアの利用者が見られる画面表示を除き、その如何なる部分もユーザー様の部外者に開示しないこと、ならびにネットワークまたは他の手段で本ソフトウェアへのアクセスをユーザー様の部外者に提供しないことに同意するものとします。

4. 保証の範囲

クリーントレース™ 衛生モニタリングシステム（以下「本システム」と言います）は、クリーントレース™ ATP 測定機器ルミノメーター、クリーントレース™ 衛生管理ソフトウェアおよび Neogen が提供するその他のコンポーネントを含みます。これらについては、クリーントレース™ 衛生モニタリングシステムのユーザーマニュアル（以下「ユーザードキュメント」と言います）で説明されています。

保証の範囲と免責事項

本システム（ソフトウェアを含みます）が出荷日から 1 年間、実質的にユーザードキュメントに記載の通りに機能することを保証します。ただし、右記の何れかに該当する場合、この保証は無効となりますので、ご注意ください：(A) Neogen から許可を受けていない人が本システムの修理を行った場合、(B) 本システムが改変または乱用された場合、(C) Neogen が本システム向けに提供していない製品、消耗品、コンポーネントまたはソフトウェアと本システムが併用された場合、(D) 本システムまたはコンポーネントが他の用途に使用された場合（他の回路基板やコンポーネントとの併用等）、(E) 本システムの保守または利用がユーザードキュメントの指示通りに行われなかった場合。法律で禁じられる場合を除き、この保証は他の明示的および黙示的なあらゆる保証（商品性または特定目的への適合性についての黙示的な保証、ならびに取引の過程あるいは商習慣により発生した黙示的な保証を含みます）に代わって行われるものです。ソフトウェアがエラーフリーで動作することは保証の限りではありません。

本システムが出荷から 1 年以内に上記の明示的な保証に適合しなくなった場合も、Neogen が負う義務およびお客様が受けられる救済措置は、Neogen の判断に従い 1) 不適合コンポーネントの交換または修理、2) 購入代金の払戻しの何れかに限定させていただきます。

5. 守秘義務

各当事者とも、本ソフトウェアならびにその機能および能力に関する情報が、Neogen が専有する秘密情報（以下「本秘密情報」と言います）であることに同意するものとします。ユーザー様は、本秘密情報を秘密裏に保持し、本契約書で特に認められる場合を除き、これを使用または開示しないことに同意するものとします。ユーザー様は、本契約書が本秘密情報の開示先を、本契約書で許可される本ソフトウェアの使用に直に関わり、なおかつ本秘密情報を秘密裏に保持することに同意するユーザー様の役員、従業員、代理人者に限定することに同意するものとします。ユーザー様は、本秘密情報がユーザー様の責めによらず公知となった場合、あるいはユーザー様が Neogen から入手する前または本契約書に従い開発する前にすでに本秘密情報を保有していた場合、本秘密情報を秘密裏に保持する義務を負わないものとします。ユーザー様がこの第5条で負う義務は、本契約の満了または終了後も5年間存続するものとします。

6. 責任の範囲

Neogen は、法律で禁じられる場合を除き、他の直接的・間接的・派生的・偶発的・例外的な損害（利益、事業、投資、機会の逸失等）について、仮にこのような損害の可能性について事前に勧告を受けていた場合も、お客様ならびに第三者に対する責任を負いかねますので、ご了承ください。各当事者とも、Neogen が本契約においてお客様に対し直接的な損害（事由の如何を問わない）について負う全責任が、100 ドルおよび本システムの購入代金のうち、高額な方を上回らないことに同意します。州や国によっては、上記と異なる責任を要求する法律が施行されている場合もあります。このような州や国では、最低限要求される責任を適用するものとします。

7. 終了

本契約は、(a) ユーザー様が本契約書の規定に対して重大な違反を犯し、当該違反に関する通知書を Neogen より受け取ってから 30 日以内に当該違反を是正しない場合、あるいは(b) ユーザー様が本ソフトウェアの使用を中止した場合、終了するものとします。本契約が終了した場合は、その理由の如何を問わず、ユーザー様はユーザー様が所持または管理する本ソフトウェアのすべてのコピーを Neogen に返却するものとします。

8. 侵害

本ソフトウェアが米国内の特許権または著作権を侵害するとした申し立てまたは訴訟がユーザー様を相手取って起こされた場合、Neogen は当該申し立てについて速やかに書面で通知を受けること、また当該申し立てへの抗弁または和解に向けた情報、妥当な支援、全面的な権限を与えられることを条件に、自らの費用負担で抗弁を行い、最終的に裁定された費用および損害賠償金を支払うものとします。当該申し立てへの抗弁または和解において、Neogen はユーザー様のために本ソフトウェアの使用を継続する権利を取得すること、

あるいはソフトウェアが侵害を起こさないよう交換または修正を行うこと、もしくは Neogen が当該救済措置を合理的に提供できないと判断した場合は、本ソフトウェアの価値低下に応じたクレジットをユーザー様に供与して本ソフトウェアの返却を受け入れることが認められるものとし、申し立てられた侵害が Neogen 製でないソフトウェアまたは機器と組み合わせた本ソフトウェアの使用または売却によるものか、本ソフトウェアの改変によるものか、あるいは Neogen が文書で承認していない方法による本ソフトウェアの使用によるものである場合、Neogen は一切の責任を負わないものとし、第三者による特許権または著作権侵害の申し立てに関連して Neogen がユーザー様に対して負う全責任は、本条に定める通りとします。

9. 免責

ユーザー様は、(a) ユーザー様による本契約への違反、(b) ユーザー様によるクリーントレース™ ATP 測定機器ルミノメーターおよび本ソフトウェアの使用、(d) ユーザー様がユーザードキュメントに従ってクリーントレース™ ATP 測定機器ルミノメーターおよび本ソフトウェアの設置、インストール、使用、メンテナンスを行わなかったこと、(c) ユーザー様が米国食品医薬品局により交付された規定等の適用法令を順守しなかったことに起因する申し立て、責任、損失、損害、先取特権、判決、義務、罰金、民事制裁金および訴訟費用（合理的な弁護士費用を含みます）について、Neogen およびその取締役、役員、従業員、代理人、子会社、関連会社ならびにその承継者および譲受人（以下「免責対象者」と言います）を免責することに同意するものとし、

10. 譲渡

ユーザー様は、Neogen から事前に同意書を得ない限り本契約およびそれに伴う利権を譲渡できないものとし、譲渡の試みも無効であるものとし、

11. 完全合意

ユーザー様は、本契約がその目的に関する Neogen とユーザー様との完全合意であることに同意するものとし、本契約は、この目的に関して Neogen とユーザー様との間で以前に取り交わされた口頭または書面による合意事項その他の情報に優先するものです。本契約書のある規定が管轄裁判所により無効または執行不可と判断された場合でも、当該規定は本契約書から削除されると見なすものとし、残余の規定は引き続き効力を有するものとし、

12. 政府による使用

本条は、本ソフトウェアの米国連邦政府による取得、米国連邦政府のための取得、あるいは元請業者または下請業者（任意階層）による米国連邦政府との契約、認可、共同契約その他の取引、あるいは他の協定に基づく米国連邦政府のための取得に適用されるものです。本ソフトウェアの引き渡しを受けることにより、米国連邦政府は、取得という観点から、またこの調達に

適用される資金援助規定の観点から、本ソフトウェアが「商用」コンピューターソフトウェアとして相応しいことに同意するものとします。このライセンスの条件は、米国連邦政府による本ソフトウェアの使用および開示に適用されるものであり、これと矛盾する如何なる契約条件にも優先するものとします。このライセンスが米国連邦政府のニーズに適合しない場合、あるいは連邦法に合致しない場合、米国連邦政府は本ソフトウェアを未使用の状態 Neogen に返却することに同意するものとします。適用される FAR および DFARS 条項。本契約の発効日の時点で効力を有する FAR 52.212-4「契約条件：市販品」および FAR 52.212-5「制定法または大統領令の実施に必要な契約条件：市販品」を参照することにより本契約書の一部としています。本契約が国防総省との間で締結される場合は、本契約の発効日の時点で効力を有する DFARS 252.212-7001「市販品の防衛調達に適用される制定法または大統領令の実施に必要な契約条件」も参照することにより本契約書の一部としています。

13. 準拠法

本契約書は、ミネソタ州で締結および履行される契約に適用されるミネソタ州法に準拠します。本契約書から発生もしくは本契約書に関連する訴訟は、ミネソタ州ラムゼー郡の州立裁判所および連邦裁判所を管轄裁判所として当該裁判所のみ申し立てるものとし、ユーザー様は当該裁判所の対人管轄権に全面的に準拠するものとします。本契約書は、国際物品売買契約に関する国際連合条約（1980年）に準拠しないものとします。

クリーントレース™ 衛生モニタリングシステムをご利用になるには、本契約書の条件にご同意いただくことが必要です。本契約書の条件にご同意いただけない場合は、Neogen 販売代理店にご連絡のうえ、本システムを返却して払戻金をお受け取りください。

NEOGEN、クリーントレースは、Neogen 社の商標です。

ネオジェンジャパン株式会社

<https://neogen.jp/>